

2019 年度

授業科目の解説 (1 年用)

看護学科

島根大学医学部

2019年度 医学部看護学科 学年暦

[illegible]

2019年度 授業時間割表（看護学科1年）

前期

	1・2 8:30～10:10	3・4 10:25～12:05	5・6 13:00～14:40	7・8 14:55～16:35	9・10 16:50～18:30
月	英語ⅠA(A) (玉木) eステーション		形態と機能Ⅰ (橋本) N11	情報科学概論 (津本他) 情報科学演習室	
火	【教養育成科目】 細胞生物学 (橋本他) L3遠隔	【教養育成科目】 人間行動論 (田中) L3	看護学原論 (福間他) L3遠隔	【教養育成科目】 生物有機化学 (久保) N11	
水			生命科学の歴史と倫理 (医学部長他) L3遠隔	看護学入門セミナー	看護学入門セミナー
木	スポーツ実習Ⅰ(B) (木原) 英語ⅡA(A1) (Telloyan)L2 英語ⅡA(A2) (Murphy)国際交流ラウンジ	スポーツ実習Ⅰ(A) (木原) 英語ⅡA(B1) (Telloyan)L2 英語ⅡA(B2) (Murphy)国際交流ラウンジ		人間心理Ⅰ (熊倉他) L3	看護学入門セミナー
金	松江キャンパス				
	初修外国語	(日本国憲法)	初修外国語		

後期

	1・2 8:30～10:10	3・4 10:25～12:05	5・6 13:00～14:40	7・8 14:55～16:35	9・10 16:50～18:30
月		形態と機能Ⅰ (橋本他) N11	英語ⅠB(A) (中井) eステーション 英語ⅡB(B2) (Telloyan)L2 英語ⅡB(B1) (Murphy)国際交流ラウンジ	英語ⅠB(B) (中井) eステーション 英語ⅡB(A2) (Telloyan)L2 英語ⅡB(A1) (Murphy)国際交流ラウンジ	情報科学演習 (津本他) 情報科学演習室
火		援助関係論演習 (福間他) N21・第4実習室	基礎看護学実習Ⅰ (福間他) N11・演習室		
水	【教職科目】 教育相談の理論と方法 (斎藤) N12・N202	形態と機能Ⅱ (橋本) N11	形態と機能Ⅰ(解剖実習) *12/11、18、25 (橋本・福田)実習棟1階第1実習室 ヘルスアセスメント技術演習 (福間他) N21・第3実習室		
木		環境保健学 (小笹) N21	感染と免疫 (福田他) N21	社会福祉論 (西崎) L3遠隔予定	栄養と代謝 (橋本他) N21
金	健康・スポーツ 科学概論Ⅰ (大谷他) L3		【教職科目】 人格発達心理学概説 (堤) <松江キャンパス> 【教養育成科目】 地域医療学 (熊倉他)・L3		

L2・・・講義棟2階、L3・・・講義棟3階、

※ 一部日程を変更して授業を行うことがあります。各科目の授業日程表で確認してください。
 ※ 時間・場所の変更などがある場合は、看護学科棟2階の掲示板への掲示、代議員を通じての連絡、メール配信等により通知します。

授業科目一覧

区分	科目・分野		授業科目名	単位数	履修年次		必修又は 選択必修 の別	授業担当教員等	
					1 年次				
					前期	後期			
基礎科目	外国語	英語	英語Ⅰ A	p5	1	1		必修	嘱託講師 玉木 祐子
			英語Ⅰ B	p7	1		1	必修	外国語教育センター教授 中井 誠一
			英語Ⅱ A	p9	1	1		必修	講 師 John Telloyan
			英語Ⅱ B	p9	1		1	必修	助 教 Lynne Murphy
		初修外国語	ドイツ語Ⅰ	p13	2	2		選択必修	ドイツ語Ⅰ， フランス語Ⅰ， 中国語Ⅰ， 韓国・朝鮮語Ⅰは選択必修科目で、いず れか2単位を修得すること。
			フランス語Ⅰ	p15	2	2		選択必修	
			中国語Ⅰ	p17	2	2		選択必修	
			韓国・朝鮮語Ⅰ	p19	2	2		選択必修	
	文化・健康・芸術	健康・スポーツ	健康・スポーツ科学概論Ⅰ	p21	2		2	必修	教 授 大谷 浩 他
			スポーツ実習Ⅰ	p23	1	1		必修	嘱託講師 木原 勇夫
	情報科学		情報科学概論	p24	2	2		必修	教 授 津本 周作 他
			情報科学演習	p26	1		1	必修	教 授 津本 周作 他

区分	科 目	分 野	単位数	必修, 選択必修, 選択の別	備 考
教養育成科目	入門科目	人文社会科学分野	*	必修（1科目） 「細胞生物学」	各分野には複数の授業が開講されるので、その中から科目を選択し、10単位以上修得すること。
		自然科学分野			
		学際分野			
	発展科目	人文社会科学分野	*	選択必修（4科目）	ただし、入門科目・自然科学分野の「細胞生物学」は必修とする。
		自然科学分野			
		学際分野			
	社会人力養成科目		*	**	** 社会人力養成科目は必修単位に含めることはできないが、養護教諭希望者は「日本国憲法」は必修。

【教養育成科目】（出雲キャンパスで開講される科目一覧）

区分	科目・分野	授業科目名	単位数	履修年次		必修又は 選択必修 の別	授業担当教員等
				1 年次			
				前期	後期		
教養育成科目	入門科目 (人文社会科学分野)	人間行動論 p29	2	2		選択必修	法文学部准教授 田中 一馬
	入門科目 (自然科学分野)	細胞生物学 p31	2	2		必修	教 授 橋本 龍樹
		生物有機化学 p33	2	2		選択必修	嘱託講師 久保 恭男
	発展科目 (学際分野)	地域医療学 p35	2		2		選択必修

区分	科 目	授業科目名	単位 数	履修年次		必修又は 選択必修 の別	授業担当教員等		
				1 年次					
				前期	後期				
専門 教育科目	専門基礎 科目	人間心理Ⅰ	p37	2	2		必修	教 授 熊倉 俊一	
		人間心理Ⅱ		2		2	選択	2019年度は不開講	
		感染と免疫	p39	2		2		必修	教 授 福田 誠司 他
		生命科学の歴史と倫理		2	2			必修	医学部長 他
		形態と機能Ⅰ	p41	2	2			必修	教 授 橋本 龍樹 他
		形態と機能Ⅱ	p44	2		2		必修	教 授 橋本 龍樹 他
		環境保健学	p46	2		2		必修	教 授 小笹 美子 他
		栄養と代謝	p48	2		2		必修	教 授 橋本 龍樹 他
		社会福祉論	p50	2		2		選択	人間科学部教授 西崎 緑
		上級TOEICセミナーⅠ	p52	0.5				自由	教 授 岩田 淳
		上級TOEICセミナーⅡ	p53	0.5				自由	教 授 岩田 淳
		グローバルリテラシーセミナーⅠ	p54	0.5				自由	嘱託講師 川上サマンサ
		グローバルリテラシーセミナーⅡ	p56	0.5				自由	嘱託講師 川上サマンサ
		海外留学セミナー	p58	0.5				自由	講 師 John Telloyan
		アカデミックイングリッシュA	p60	0.5				自由	講 師 John Telloyan
		アカデミックイングリッシュB	p62	0.5				自由	助 教 Lynne Murphy
		臨床英語	p64	0.5				自由	教 授 福田 誠司
		海外研修A	p65	1				自由	教 授 岩田 淳
		海外研修B	p66	1				自由	募集時に決定
		海外研修C	p67	1				自由	募集時に決定

区分	科 目	授業科目名	単位 数	履修年次		必修又は 選択必修 の別	授業担当教員等	
				1 年次				
				前期	後期			
専門 教育 科目	専門科目	看護学原論	p69	2	2	必修	准教授 福岡 美紀 他	
		援助関係論演習	p71	1		1	必修	准教授 福岡 美紀 他
		ヘルスアセスメント技術演習	p73	1		1	必修	准教授 福岡 美紀 講 師 宮本まゆみ 他
		基礎看護学実習Ⅰ	p76	1		1	必修	准教授 福岡 美紀 他

【教職に関する科目】 養護教諭希望者は全て必修

区分・科目	授業科目名	単位 数	履修年次		開講時間	授業担当教員等	開講場所
			1 年次				
			前期	後期			
教職に関する科目	教育原論Ⅱ p79	2		2	集中	嘱託講師 中島 千恵	出雲キャンパス
	教職概論C	2	2		集中	教育学部教授 榎藤 誠剛	松江キャンパス
	教育社会学概説	2		2	集中	教育学部准教授 香川奈緒美	松江キャンパス
	人格発達心理学概説	2		2	金5・6	嘱託講師 堤 雅雄	松江キャンパス
	教育相談の理論と方法 p80	2		2	水1・2	嘱託講師 斎藤 渉	出雲キャンパス

◆ 養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の履修について (p82)

◆ 2019年度オフィスアワー一覧 (p83)

※松江キャンパス開講科目（教養育成科目，教職に関する科目）については，島根大学シラバス検索（<https://gakumuweb1.shimane-u.ac.jp/syllabus/>）で確認してください。

カリキュラム模式図 [医学部看護学科]

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目 英語 英語Ⅰ A, 英語Ⅱ A 初修外国語 (選択必修) (ドイツ語Ⅰ, フランス語Ⅰ, 中国語Ⅰ, 韓国・朝鮮語Ⅰ) 健康・スポーツ スポーツ実習Ⅰ 情報科学 情報科学概論	英語 英語Ⅰ B, 英語Ⅱ B 初修外国語 (選択) (ドイツ語Ⅱ, フランス語Ⅱ, 中国語Ⅱ, 韓国・朝鮮語Ⅱ) 健康・スポーツ 健康・スポーツ科学概論Ⅰ 情報科学 情報科学演習	専門教育科目 (専門基礎科目) 看護英語Ⅰ 病理学の基礎 薬理と薬剤 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅲ 障害福祉論	専門教育科目 (専門基礎科目) 看護英語Ⅱ 保健福祉行政論 疫学・衛生統計	専門教育科目 (専門科目) 成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 老年看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論		専門教育科目 (専門基礎科目) 地域看護学演習 	
	教養育成科目 (選択必修) 入門科目 人文社会科学分野 自然科学分野 (細胞生物学は必修) 学際分野 発展科目 人文社会科学分野 自然科学分野 学際分野 社会人力養成科目 (日本国憲法)	専門教育科目 (専門科目) 看護理論 看護過程論演習 日常生活援助技術演習 地域看護学概論	専門教育科目 (専門科目) 診療時援助技術演習 成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論 地域看護学活動論	成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院他) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 看護学総合実習Ⅰ (OSCE)		専門教育科目 (専門科目) 老年看護学実習Ⅱ (於：介護老人保健施設 家族看護論 緩和ケア論 クリティカルケア論 看護理論講読 看護教育論 在宅看護学実習 (於：訪問看護ステーション) (地域看護学実習Ⅰ 於：保健所 市町保健センター) 地域看護学実習Ⅱ (於：事業所)	
		専門教育科目 (専門科目) 基礎看護学実習Ⅱ (於：附属病院) (於：松江赤十字病院) 助産学概論	基礎看護学実習Ⅱ (於：附属病院) (於：松江赤十字病院) 助産学概論	助産学実習Ⅱ (於：附属学校 既実習施設)		看護学総合実習Ⅱ (於：附属学校 既実習施設)	
	看護学原論	専門教育科目 (専門科目) 援助関係論演習 ヘルスアセスメント技術演習 基礎看護学実習Ⅰ (於：附属病院)	基礎看護学実習Ⅰ (於：附属病院) 助産学概論 健康相談論 看護基礎実習事前・事後指導 看護基礎実習	助産学実習 		助産学実習 	
教職概論 C	教育原論Ⅱ 人格発達心理学概説 教育社会学概説 教育相談の理論と方法	教育課程論 生徒指導論	看護基礎実習事前・事後指導 総合的な学習の時間 特別支援教育	看護学実習 		看護学実習 	

凡例 ☐ 教養育成科目 ☐ 専門教育科目 (専門基礎科目) ☒ 専門教育科目 (専門科目) ☐ 臨地実習 ☐ 助産科目 ☒ 看護・教職科目 (看護教諭一種免許状)

基 礎 科 目

授業科目名	英 語 I A	担当教員	嘱託講師 玉木 祐子			
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	必修			
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1	
授業概要						
科学，医学分野のトピックを題材に，基本語彙，構文，表現を学習しながら4技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）の向上を目指します。授業ではテキストのほか，オンライン学習，対話力向上を目的としたペア・グループによるコミュニケーション活動を行います。また，TOEIC受験対策としてのリーディング問題演習を並行して実施します。						
G I O（一般目標）						
4技能の総合力養成を主軸に，科学，健康分野に関する基本語彙，構文，表現を学びながら，看護師として必要な実践的英語読解，コミュニケーション能力の基礎を習得する。						
S B O（行動目標）						
医学，科学に関するトピックについて， (1) 英文読解に必要な重要語彙，文法，構文が理解できる。 (2) 英文を読み，内容を正確に理解できる。 (3) 英語で概要をまとめたり，自分の意見を発表できる。 (4) 英文や会話を聞いて，内容を正確に理解できる。						
成績評価の方法						
定期試験 50%（中間 25%，期末 25%），TOEIC-IP Reading Section 20%，授業への取り組み（小テスト20%・出席等10%）30% * 2/3以上の出席がない場合，未修とします（遅刻3回で1回分の欠課とみなします）。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
1. 教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 ・『New Moments in Science（やさしい生活科学）』，ISBN4-7919-4073-3，成美堂 ・Longman Preparation Series for the TOEIC Test Introductory Course, 6th edition. (Pearson) ISBN 9780134984841, 税込4,471円 2. その他の教材 ・英和辞書（電子辞書も可） ・医学部基本語彙集（授業開始時に配布） ・プリント教材（授業で配布） ・『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1・2』（国際ビジネスコミュニケーション協会）						
オフィスアワー						
月曜 13:30～16:30						

授業計画

回	授業日	場所	テーマ	授業内容
1	4/8	eステーション	Introduction	
2	4/15	〃	Chapter 1	Medical Truth ・ TOEIC 演習
3	4/22	〃	Chapter 2	TV Makes You Fat ・ TOEIC 演習
4	5/13	〃	Chapter 3	Melatonin and Jet Lag ・ TOEIC 演習
5	5/20	〃	Chapter 4	Fever ・ TOEIC 演習
6	5/27	〃	Chapter 5	How Maggots Cure ・ TOEIC 演習
7	6/3	〃	Chapter 6	Titan ・ TOEIC 演習
8	6/10	〃	REVIEW	
9	6/17	〃	Chapter 7	The ABC of CPR ・ TOEIC 演習
10	6/24	〃	Chapter 8	Light Travels Awfully Fast ・ TOEIC 演習
11	7/1	〃	Chapter 9	History of Coffee ・ TOEIC 演習
12	7/8	〃	Chapter 10	Melatonin ・ TOEIC 演習
13	7/12(金)	〃	Chapter 11	Gravity Force ・ TOEIC 演習
14	7/22	〃	Chapter 12	Caffeine ・ TOEIC 演習
15	掲示で連絡		期末試験	

備 考

月曜 1.2 限→Aクラス 3.4 限→Bクラス

授業科目名	英 語 I B	担当教員	外国教育センター 教授 中井 誠一			
開講年次及び学期	1 年 後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1	
授業概要						
この授業では、eラーニングを通じて、英語コミュニケーションを実践していく上でその中核となるリスニング・リーディングの能力を向上させることを目的とします。eラーニングシステムNetAcademy 2を利用して、主に自宅での自学・自習を行うことにより、英語コンタクトタイムの絶対量を増加させ、着実に英語力をつけていきます。また、対面授業としては、テキストを使用して実践的な演習を行うと共に、オンライン課題の要点などの解説や操作指導などを行い、内容の定着を計ります。						
G I O（一般目標）						
総合的英語能力の向上と持続学習習慣の確立を目指したeラーニングによる語学演習と、テキストや小テストによる実践的な対面授業を通じて、英語コミュニケーション能力の基礎を身につける。						
S B O（行動目標）						
1. eラーニングを利用した英語学習を十分理解し、自学・自習教材として活用できる。 2. 実践的な文法・構文の知識を習得し、英語コミュニケーションの基礎力を習得できる。 3. TOEICに対応したリスニング・リーディング能力を習得できる。						
成績評価の方法						
・ 中間・期末試験 50% ・ TOEIC IP 20% ・ TOEICテスト演習課題 12% 小テスト 10% ・ 授業への取り組み（単語演習、授業の準備、出席など） 8%						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
1. 教科書 ・ <i>The High Road to the TOEIC Listening and Reading Test</i>（金星堂） 2. 参考文献 ・ <i>Longman Preparation Series for the TOEIC Test Introductory Course, 6th edition.</i> (Pearson) ISBN 9780134984841, 税込 4,471 円 3. その他の教材 ・ 英和辞書（電子辞書も可）						
オフィスアワー						
月曜日 12:25～12:45, 16:00～16:20 教員室（講義棟 2 階）						

授業計画

回	授業日	場所	テーマ	授業内容
1	10/7	eステーション	Introduction	オンラインレベル診断テスト
2	10/15(火)	〃	Unit 1: Travel	演習 1, オンライン課題 1
3	10/21	〃	小テスト 1, Unit 3: Media	演習 2, オンライン課題 2
4	10/28	〃	小テスト 2, Unit 4 Entertainment	演習 3, オンライン課題 3
5	11/11	〃	小テスト 3, Unit 5 Purchasing	演習 4, オンライン課題 4
6	11/18	〃	小テスト 4, Unit 6 Clients	演習 5, オンライン課題 5
7	11/25	〃	小テスト 5, Unit 8 Personnel	
8	12/2	〃	前半のまとめと確認	
9	12/9	〃	Unit 9 Advertising	演習 6, オンライン課題 6
10	12/16	〃	小テスト 6, Unit 10 Meetings	演習 7, オンライン課題 7
11	12/23	〃	小テスト 7, Unit 11 Finance	演習 8, オンライン課題 8
12	1/6	〃	小テスト 8, Unit 12 Offices	演習 9, オンライン課題 9
13	1/20	〃	小テスト 9, Unit 13 Daily Life	演習 10, オンライン課題 10
14	1/27	〃	小テスト 10, Unit 14 Sales & Marketing	
15	2/3		期末試験	

備 考

トピックはクラスによって異なります。

月曜 5.6限→Aクラス 7.8限→Bクラス

授業科目名	英語Ⅱ A・Ⅱ B (Telloyan)	担当教員	講師 John Telloyan			
開講年次及び学期	1 年前期・後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	演習	時間数	前期 30, 後期 30	単位数	各 1	
授業概要						
This course has a goal to increase the health awareness of Japanese students and at the same time give them practice in English conversation. We will use a communicative, student-centered, content-based text designed for young Japanese adults at an intermediate level. The general objective is to develop the four skills of listening, speaking, reading and writing with an emphasis on speaking and listening. Important health points will be stressed which we hope will not only give us English material to study, but will result in healthier lives in the future for our students.						
G I O (一般目標)						
This class will be presented in a serious, authoritative style, yet will use humorous illustrations and dialogues to give it a lighthearted touch. Important health points will be stressed and reiterated throughout the lessons. A number of uncommon, health-related words and expressions will also be taught. The students will have many opportunities in class to practice listening and speaking English using health-related topics.						
S B O (行動目標)						
Listening and speaking: Mastery of key vocabulary and sentence patterns essential to basic conversational skills. Writing: Mastery of key basic writing skills. Reading: Mastery of important reading skills.						
成績評価の方法						
Attitude: 10% TOEIC listening: 20% Test: 70% 1) Students must attend at least 2/3 of classes to be able to take test 2) 3 times late to class equals an absence 3) each student must purchase their own NEW textbooks1) students						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
(1) Textbook: Healthtalk Author: Bert McBean Company: Tryalogue Education ISBN: 978-4-9910172-1-6 (2) Longman Preparation Series for the TOEIC Test Introductory Course, 6th edition. (Pearson) ISBN 9780134984841, 税込4,471 円						
オフィスアワー						
掲示板に掲示し周知する。						

授業計画

回	授業日		場所	テーマ	授業内容
	Ⅱ A	Ⅱ B			
1	4/11	10/7	L2	Introduction	Class introduction; Student introductions
2	4/18	10/15 (火)	〃	You can live to be a hundred	Reading, dialogue practice, key questions, vocab
3	4/25	10/21	〃	Ten ways to prevent cancer	Reading, true-false questions, dialogue, vocab
4	5/9	10/28	〃	Smoking tobacco is dangerous	Reading, matching vocab, getting information
5	5/16	11/11	〃	The Environment and your health	Reading, true-false questions, dialogue, listening
6	5/23	11/18	〃	Exercise for good health	Reading, true-false questions, dialogue, word game
7	5/30	11/25	〃	Healthy food for a healthy body	Reading, using key words, dialogue practice
8	6/6	12/2	〃	Alcohol can be dangerous	Reading, true-false questions, matching, listening
9	6/13	12/9	〃	Stress can ruin your health	Reading, true-false questions, finish the sentence
10	6/20	12/16	〃	Obesity is a bad thing	Reading, true-false questions, finish the sentence
11	6/27	12/23	〃	Dental care for healthy teeth	Reading, true-false questions, using key words
12	7/4	1/6	〃	The AIDS crisis concerns everyone	Reading, true-false questions, matching for learning
13	7/11	1/20	〃	Depression	Reading, true-false questions, getting info, pair work
14	7/18	1/27	〃	Units 1-12 review	
15	7/25	2/3	〃	Final Test	

備 考

Ⅱ A：木曜 1.2 限→A1クラス 3.4 限→B1クラス
Ⅱ B：月曜 5.6 限→B2クラス 7.8 限→A2クラス

授業科目名	英語Ⅱ A・Ⅱ B (Murphy)	担当教員	助教 Lynne Murphy			
開講年次及び学期	1 年前期・後期		必修・選択の別		必修	
開講形態	演習		時間数	前期 30, 後期 30	単位数	各 1
授業概要 This course is designed to help 1st-year nursing students improve their presentation skills. By practicing a variety of communicative techniques through listening, speaking, reading, and writing, the students will gain sufficient knowledge and confidence to enable them to present effectively in English.						
G I O (一般目標) Having learned key vocabulary and basic sentence patterns, the students will proceed to experiment with more advanced communicative tasks such as original dialogue and self-expression through writing. Based upon the knowledge acquired through these tasks, the students will give a presentation.						
S B O (行動目標) First, the students will complete vocabulary and listening tasks. Then, they will move on to practice speaking and review grammar. After reading, they will exercise their self-expression before finally giving a presentation.						
成績評価の方法 Attitude: 10% TOEIC listening: 20% Presentations: 10% Final exam: 60% Students must have attended 2/3 of classes to be able to sit the final exam. If students have been late 3 times, it will be marked as an absence. Students must have a new textbook with no writing in it.						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 (1) Book: Smart Choice (third edition) Authors: Ken Wilson, Mike Boyle Company: Oxford University Press ISBN: 978 0 19 460282 2 (2) Longman Preparation Series for the TOEIC Test Introductory Course, 6th edition. (Pearson) ISBN 9780134984841, 税込 4,471 円						
オフィスアワー 掲示板に掲示し周知する。						

授業計画

回	授業日		場所	テーマ	授業内容
	Ⅱ A	Ⅱ B			
1	4/11	10/7	国際交流 ラウンジ	Unit 1: I've been running.	Practice of the 4 skills plus presentation
2	4/18	10/15 (火)	〃	Unit 2: I wonder what that's about.	Practice of the 4 skills plus presentation
3	4/25	10/21	〃	Unit 3: It was painted by Banksy.	Practice of the 4 skills plus presentation
4	5/9	10/28	〃	Units 1-3 Review	Review Lesson
5	5/16	11/11	〃	Unit 4: Who's your best friend?	Practice of the 4 skills plus presentation
6	5/23	11/18	〃	Unit 5: Gotta have it!	Practice of the 4 skills plus presentation
7	5/30	11/25	〃	Unit 6: He'd never been abroad.	Practice of the 4 skills plus presentation
8	6/6	12/2	〃	Units 4-6 Review	Review Lesson
9	6/13	12/9	〃	Unit 7: Time for a new look!	Practice of the 4 skills plus presentation
10	6/20	12/16	〃	Unit 8: My life would be great!	Practice of the 4 skills plus presentation
11	6/27	12/23	〃	Unit 9: What would you have done?	Practice of the 4 skills plus presentation
12	7/4	1/6	〃	Unit 10: Anything's possible.	Practice of the 4 skills plus presentation
13	7/11	1/20	〃	Unit 11: What would have happened?	Practice of the 4 skills plus presentation
14	7/18	1/27	〃	Unit 12: He said he was a movie star!	Practice of the 4 skills plus presentation
15	7/25	2/3	〃	期末テスト	

備 考

Ⅱ A：木曜 1.2 限→A2クラス 3.4 限→B2クラス
Ⅱ B：月曜 5.6 限→B1クラス 7.8 限→A1クラス

授業科目名	ド イ ツ 語 I	担当教員	外国語教育センター シュルツ・ローランド, 行重 耕平		
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	選択必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2
授業の目的 読む・書く・聴く・話すという4技能のバランスに配慮して、ドイツ語の基礎的運用能力を身につけることが目的です。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化の多元的理解を目指します。					
達成目標（達成度） ドイツ語では、以下の4項目をドイツ語I・II 4単位修得時の到達目標としています。 1. ドイツ語技能検定試験（独検）4級程度のドイツ語を理解し、適切に運用することができる。（知識・態度・技能） 2. 現代ドイツ語圏文化を理解することができる。（知識） 3. 英語以外の外国語を学ぶことで、日本語、日本文化をより客観的に見る視点を獲得し、多くの文化が共生する地球に生きている自覚と責任を持つことができる。（態度） 4. 大学生として新たな外国語を学ぶことで、これまでの学習方法や学習観を自ら振り返って客観化でき、それらを主体的・能動的に転換することができる。（態度・技能）					
授業内容 1. 授業のオリエンテーション、アルファベット、つづりの読み方と発音 2. Lektion 1. やあ、僕はナオキ【動詞の人称変化】 3. Lektion 2. あっちの方にあるのが郵便局【名詞の性】 4. Lektion 3. 今小説を読んでいるところ【名詞の格変化】 5. Lektion 4. お皿とカップとグラスはここよ！【名詞の複数形】 6. Lektion 5. 夏休みには何をするの？【前置詞】 7. Lektion 6. これが私の両親【冠詞類】 8. 授業前半のまとめ 中間試験（授業時間中に担当教員が実施）とその検討 9. Lektion 7. テレビを見てるの？【分離動詞】 10. Lektion 8. 4時にパウルとユーリアと会うことにしてる【再帰動詞】 11. Lektion 9. 鍵を見つけられないんだ【話法の助動詞】 12. Lektion 10. ここには黒い帽子と小さな人形と古いラジオがあるよ【形容詞の格変化】 13. Lektion 11. ハンブルクとミュンヘンではどちらの町の方が大きい？【比較の表現】 14. Lektion 12. ティーロには今朝もう会った？【現在完了形】 15. 期末試験（「ドイツ語I」で、範囲、問題形式、難易度等共通の別試験を、「時間割による試験期間」にクラスごとに実施します。）					
授業の進め方 教科書は、日常的な会話テキストを通して、ドイツ語を楽しみながら学習していくドイツ語初級教科書です。教科書の順序にそって、おおよそ次のように学習していきます。 (1) 各課の本文を聞き、声に出して発音します。単語や文の意味を確かめます。 (2) 各課のキーセンテンスについての文法説明を読み、理解します。 (3) キーとなる文法を理解し、本文に音声的に慣れたら、次に、ペア練習に移ります。クラス全体で練習した後、単語を替えながらパートナー練習をします。 (4) 各課の文法を詳しく説明します。教科書に書き込みながら、段階的に着実に理解します。 (5) 獲得した文法知識をもとに、もう一度本文を復習し、さらに、話したり、聞いたり、読んだり、書いたり練習をします。 また、折に触れ、さまざまなドイツ事情についても紹介します。					

授業キーワード ドイツ語，現代ドイツ語圏文化，言語運用能力，多文化理解
テキスト 『ドイツ語ベーシック・コース（改訂版）』大藺・シュルツ・西脇・行重著，三修社 ISBN978-4-384-12274-9（¥2,600＋税）
参考文献 辞書は必携です。（授業のオリエンテーションで説明，紹介します。） その他，授業中に適宜紹介します。
その他授業資料等 必要に応じてプリントを配布します。
成績評価の方法 1. 中間試験40点…達成目標1・2（知識・態度・技能）の評価 2. 期末試験40点…達成目標1・2（知識・態度・技能）の評価 3. 平常点20点（何を平常点とするかは授業のオリエンテーションで説明します） …達成目標3・4（態度・技能）の評価 4. 正当な理由なく9回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。
履修上の指導 授業1回あたり，1時間から1時間半の授業外学習が前提です。 中間試験の成績が60%未満の人は，点数に応じた補習を受けることができます。決められた補習をきちんと行った人の中間試験成績は，60%に補正されます。
オフィスアワー 外国語教育センターワークステーションで行います。 教員タイムテーブル（http://cfle.shimane-u.ac.jp/center/timetable.html）を参照してください。
その他 外国語教育センターホームページ：http://cfle.shimane-u.ac.jp/ ドイツ語ホームページ：http://cfle.shimane-u.ac.jp/german/

授業科目名	フランス語 I	担当教員	外国語教育センター 的場 寿光, マスドブリュー・クリストフ		
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	選択必修		
開講形態	演習 (医学科・看護学科合同)	時間数	60	単位数	2
授業の目的 読む・書く・聴く・話すという 4 技能のバランスに配慮して、フランス語の基礎的運用能力を身に付けることが目的です。また、英語以外の外国語を学ぶことで、多元的文化的理解を目指します。					
達成目標 (達成度) フランス語では、以下の 4 項目を選択必修 4 単位修得時の到達目標としています。 1. 実用フランス語技能検定試験 (仏検) 4 級程度のフランス語を理解し、適切に運用することができる。(知識・態度・技能) 2. 現代フランス語圏文化を理解することができる。(知識) 3. 英語以外の外国語を学ぶことで、日本語、日本文化をより客観的に見る視点を獲得し、多くの文化が共生する地球に生きている自覚と責任を持つことができる。(態度) 4. 大学生として新たな外国語を学ぶことで、これまでの学習方法や学習観を自ら振り返って客観化でき、それらを主体的・能動的に転換することができる。(態度・技能)					
授業内容 1. 授業のオリエンテーション アルファベ フランス語の綴りと発音 2. 主語人称代名詞と動詞 être 3. er 規則動詞, 数詞, 名詞の性数 4. 不定冠詞, 否定文, 疑問文, 動詞 avoir 5. 所有形容詞, 疑問詞 6. 定冠詞, 場所を表す語句, 定冠詞と前置詞の縮約 7. 形容詞の性数一致, 形容詞の位置 8. 授業前半のまとめ 中間試験 (授業時間中に担当教員が実施) とその検討 9. 比較級, 指示形容詞, 非人称構文 (天気表現) 10. 部分冠詞, 中性代名詞 (1), 不規則動詞 (1) 11. 不規則動詞 (2), 中性代名詞 (2) 12. 非人称構文 (時間の表現), 代名動詞 13. 目的語人称代名詞 14. 複合過去 15. 期末試験 (「フランス語 I」で、範囲、問題形式、難易度等共通の別試験を、「時間割による試験期間」にクラスごとに実施します。日時、場所等は掲示します。)					
授業の進め方 日本人教師とフランス人教師が同一の教科書を用いて、共同で授業をします。この授業は文法の学習、筆記問題と会話練習を中心に行います。					

授業キーワード

フランス語, 現代フランス語圏文化, 言語運用能力, 多文化理解

テキスト

ニコラ・ガイヤール他著「カフェ・フランセ」朝日出版社
ISBN 978-255-35262-6

参考文献

授業中に適宜紹介します。

その他授業資料等

授業中に適宜紹介します。

成績評価の方法

1. 中間試験40点…達成目標1・2（知識・態度・技能）の評価
2. 期末試験40点…達成目標1・2（知識・態度・技能）の評価
3. 平常点20点（何を平常点とするかは授業のオリエンテーションで説明します）
…達成目標3・4（態度・技能）の評価
4. 正当な理由なく9回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります

履修上の指導

授業1回あたり, 1時間～1時間半の授業外学習が前提です。
中間試験の成績が60%未満の人は, 点数に応じた補習を受けることができます。決められた補習をきちんと行った人の中間試験成績は, 60%に補正されます。

オフィスアワー

外国語教育センターワークステーションで行います。
教員タイムテーブル (<http://cfle.shimane-u.ac.jp/center/timetable.html>) を参照してください。

その他

外国語教育センターホームページ: <http://cfle.shimane-u.ac.jp/>

授業科目名	中 国 語 I	担当教員	外国語教育センター 王 欣		
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	選択必修		
開講形態	演習（医学科・看護学科合同）	時間数	60	単位数	2
授業の目的 読む・書く・聴く・話すという4技能のバランスに配慮して、中国語の基礎的運用能力を身につけることが目的です。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化の多元的理解を目指します。					
達成目標（達成度） 中国語では、以下の4項目を中国語I・II 4単位修得時の到達目標としています。 1. 中国語能力検定試験（中検）4級程度の中国語を理解し、適切に運用することができる。（知識・態度・技能） 2. 現代中国語圏文化を理解することができる。（知識） 3. 英語以外の外国語を学ぶことで、日本語、日本文化をより客観的に見る視点を獲得し、多くの文化が共生する地球に生きている自覚と責任を持つことができる。（態度） 4. 大学生として新たな外国語を学ぶことで、これまでの学習方法や学習観を自ら振り返って客観化でき、それらを主体的・能動的に転換することができる。（態度・技能）					
授業内容 1. 授業のオリエンテーション 2. 中国語の発音（1）（単母音・声調） 3. 中国語の発音（2）（子音・複合母音） 4. 中国語の発音（3）（鼻母音・発音規則） 5. “是”構文，人称代名詞，“吗”疑問文，副詞“不”“也”“都” 6. 動詞述語文，疑問詞疑問文（1），構造助詞“的”，指示代詞 7. 形容詞述語文，反復疑問文，程度副詞“非常，不太，有点儿”の用法 8. 授業前半のまとめ 中間試験（授業時間中に担当教員が実施）とその検討 9. 存在表現“有”“在”の用法，副詞“只”の用法，方位詞 10. 量詞，否定表現“没”，名詞述語文，時刻などの言い方， 11. 二重目的語を取る動詞，前置詞“为”の用法，年月日・曜日・季節 12. 中国語の連動文，疑問詞疑問文（2），“几”と“多少” 13. お金の言い方，語気助詞“吧”の用法，禁止の表現“别” 14. 中国語のアスペクト（1）：進行相“在”，完了相“了”，“还没” 15. 中国語のアスペクト（2）：経験相“过”，数量補語，語気助詞“了” テスト					

授業の進め方

中国語Ⅰは、中国語をはじめて学ぶ人を対象とし、発音の基礎及び初級レベルの文法事項をマスターすることを目標としています。また、日常生活に必要な表現を学び、中国語の運用能力を身につけます。

具体的には、発音段階では、ピンインや声調を繰り返して練習し、中国語の発音をしっかりと身につけます。第6課以降は、おおよそ次のように学習していきます。

- (1) 各課の新出単語の読み方を確認し、意味や用法等を説明します。
- (2) 本文を聞き、声に出して発音します。各課の文法項目を詳しく説明すると共に、作文練習をします。
- (3) 短文の「理解を深めよう」を聞き、読むことによって関連の単語や文法項目や表現等への理解を深めていきます。
- (4) 練習問題で既習した内容を総合的に確認し、重要文型や関連内容を確実にマスターします。
- (5) 授業中、作文や会話の練習を多く取り入れ、学んだ知識を運用できるように訓練します。また必要に応じて宿題を出します。
- (6) 授業の内容に合わせて様々な中国事情・文化を適宜に紹介します。

授業キーワード

中国語、現代中国語圏文化、言語運用能力、多文化理解

テキスト

オリエンテーションにて説明します。

参考文献

辞書など授業で説明します。

その他授業資料等

プリントなど、授業において適宜配布します。

成績評価の方法

1. 中間試験40点…達成目標1・2（知識・態度・技能）の評価
2. 期末試験40点…達成目標1・2（知識・態度・技能）の評価
3. 平常点20点（何を平常点とするかは授業のオリエンテーションで説明します）
…達成目標3・4（態度・技能）の評価
4. 正当な理由なく9回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります

履修上の指導

授業1回あたり、1時間～1時間半の授業外学習が前提です。

中間試験の成績が60%未満の人は、点数に応じた補習を受けることができます。決められた補習をきちんと行った人の中間試験成績は、60%に補正されます。

オフィスアワー

外国語教育センターワークステーションで行います。

教員タイムテーブル（<http://cfle.shimane-u.ac.jp/center/timetable.html>）を参照してください。

その他

外国語教育センターホームページ：<http://cfle.shimane-u.ac.jp/>

中国語ホームページ：<http://cfle.shimane-u.ac.jp/chinese/>

授業科目名	韓国・朝鮮語Ⅰ	担当教員	外国語教育センター 崔 在佑		
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	選択必修		
開講形態	演習（医学科・看護学科合同）	時間数	60	単位数	2
授業の目的 読む・書く・聴く・話すという4技能のバランスに配慮して、韓国・朝鮮語の基礎的運用能力を身につけることが目的です。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化の多元的理解を目指します。					
達成目標（達成度） 韓国・朝鮮語では、以下の4項目を韓国・朝鮮語Ⅰ・Ⅱ4単位修得時の到達目標としています。 1. ハングル能力検定試験（ハングル検定）4級、韓国語能力試験1級程度の韓国・朝鮮語を理解し、適切に運用することができる。（知識・態度・技能） 2. 現代韓国・朝鮮語圏文化を理解することができる。（知識） 3. 英語以外の外国語を学ぶことで、日本語、日本文化をより客観的に見る視点を獲得し、多くの文化が共生する地球に生きている自覚と責任を持つことができる。（態度） 4. 大学生として新たな外国語を学ぶことで、これまでの学習方法や学習観を自ら振り返って客観化でき、それらを主体的・能動的に転換することができる。（態度・技能）					
授業内容 1. 授業のオリエンテーション，1課 2. 1課 こんにちは 決まり文句1【母音Ⅰ，Ⅱ】，2課 3. 2課 ありがとうございます 決まり文句2【子音1】，3課 4. 3課 お会いできてうれしいです 決まり文句3【子音2】，4課 5. 4課 よろしくお願いします 決まり文句4【パッチム】1～4課の復習 6. 5課 私は鈴木理沙です 初対面【～が，～は，～です／ですか，僕／～ではありません，私】，6課 7. 6課 どの国の人ですか 出身を尋ねる【～です／～ですか，この／その／あの／どの，～の】，1～6課の復習 8. 中間試験（授業時間中に担当教員が実施），韓国文化体験 9. 7課 地下鉄はどこで乗りますか 道探し【～から～まで，～に／～へ，～で／～に・～へ，～です／ます，～ですか／ますか，～てください】 10. 8課 韓国料理が好きです 食堂で【～を，～が好きです／嫌いです，～と，～したい】 11. 9課 電話番号は何番ですか 電話【漢字語の数字，電話番号の読み方，尊敬語，～も，～（し）ている】 12. 10課 これはいくらですか 値段を尋ねる【否定文，～して／～くて，～より，～に】 13. 11課 今度の日曜日は何をしますか 約束，天気【固有語の数字，時間の読み方，月と日の読み方，～から～まで，～たち，～ら】 14. 12課 バースデーのパーティをしました 誕生日【過去形，～になる，時間を表す表現】 15. 期末試験（日時，場所等は掲示します。）					

授業の進め方 まず、一緒に声を出して、発音練習を重ねていきます。発音が最重要なので、積極的に発音の要領を習得しましょう。各文法事項については、丁寧に解説し、簡単な例文を覚えながら、マスターしていきます。
授業キーワード 韓国・朝鮮語、現代韓国・朝鮮語圏文化、言語運用能力、多文化理解
テキスト 『だんだん 韓国語』、朝日出版社
参考文献 授業中に紹介します。
その他授業資料等 必要に応じてプリントを配布します。
成績評価の方法 1. 中間試験40点…達成目標 1・2（知識・態度・技能）の評価 2. 期末試験40点…達成目標 1・2（知識・態度・技能）の評価 3. 平常点20点（何を平常点とするかは授業のオリエンテーションで説明します） …達成目標 3・4（態度・技能）の評価 4. 正当な理由なく9回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。
履修上の指導 授業1回あたり、若干の授業外学習（小テストの準備等）が前提です。 中間試験の成績が60%未満の人は、点数に応じた補習を受けることができます。決められた補習をきちんと行った人の中間試験成績は、60%に補正されます。
オフィスアワー 授業のオリエンテーションで説明します。
その他 外国語教育センターホームページ： http://cfle.shimane-u.ac.jp/ 韓国・朝鮮語ホームページ： http://cfle.shimane-u.ac.jp/korean/

授業科目名	健康・スポーツ科学概論Ⅰ	担当教員	教授 大谷 浩 他			
開講年次及び学期	1 年 後期		必修・選択の別		必修	
開講形態	医学科「健康科学概論」との合同講義	時間数	30		単位数	2
授業概要						
医療人を志す者は、専門職としての専門的知識と技術を身につけるのは当然だが、さらに社会生活を営む中で、人間の諸機能を十分に発揮し得る心身の健康な状態を知り、かつ自ら健康な状態を保ちつつ市民を先導できることが望ましい。また心身の健康増進におけるスポーツの役割と正しい利用法・傷害の予防への理解も重要である。 本科目では、現代社会において身体的、精神的に健康な生活を送るために必要な科学的な基礎知識や考え方を実践・研究事例などを含めた講義により学習する。全体を3部に分けて、各部の講義の後に学びのふり返りと共有・深化のためのグループワークを設ける。まず第一部では、心身の「健康」の増進へ向けた取り組み、概念などについて広く学ぶ。第二部では運動・スポーツについて学ぶ。「運動：動くこと」のヒトにおける意義とそれを支える身体の基本的な構造と機能を確認・理解し、その上で運動・スポーツの意義、ドーピングなどスポーツと薬物の関わり、スポーツ傷害とその予防について学ぶ。第三部では健康を支える「栄養」の面から学ぶ。動物としてのヒトは何を食べることが健康につながるのか、スポーツと栄養の関わり、胎生期から生涯にわたる栄養と健康との関わり、について学習する。医学科、看護学科合同で行うグループワークは、違う立場、観点から討論する将来の多職種協働の基礎ともなる貴重な機会であるので、積極的に参加して学びを深めてほしい。						
G I O（一般目標）						
1. 身体の基本的な構造と機能の理解に基づいて、健康と環境との関わり、健康増進のためのスポーツの利用、栄養学、ストレスコーピングなどを理解する。 2. 健康科学、環境医学を概論的に理解する。 3. スポーツが心身に好影響を与える効用および関係する疾病や傷害を認識する。						
S B O（行動目標）						
1. ヒトが「動く」ことの意義を理解し、自身の生活習慣を運動・栄養・心身の休養面から考察し実践できる。 2. 健康の定義を理解し、地域の市民が高い生活の質を保ちうる条件を整えるのを先導・支援できるようになる。 3. 運動・スポーツの健康増進における意義・利用法と傷害予防について説明できる。						
成績評価の方法						
各講義毎のレポート、グループワークにおける参加状況により評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
適宜紹介する。						
オフィスアワー						
適宜						

授業計画

回	月日	時間	場所	授業内容	担当
1	10.4(金)	8:30～10:10	L3	地域コミュニティケア	矢田
2	10.11(金)	〃	〃	集団からみた健康科学	神田
3	10.25(金)	〃	〃	メンタルヘルス	江副
4	11.1(金)	〃	〃	One Health ～獣医学から見た医学の役割～	田原
5	11.8(金)	〃	〃	グループワーク 1	大谷
6	11.15(金)	〃	〃	「動物：動くもの」としてのヒトの身体	大谷
7	11.22(金)	〃	〃	なぜ運動が必要か？ ―最近の研究から―	住吉
8	11.29(金)	〃	〃	スポーツと薬物	小林
9	12.6(金)	〃	〃	集団スポーツ傷害とその予防	門脇
10	12.13(金)	〃	〃	グループワーク 2	大谷
11	12.20(金)	〃	〃	ヒトの食べ物	高橋
12	12.27(金)	〃	〃	健康・スポーツと栄養	橋本
13	1.10(金)	〃	〃	胎生期からのライフステージと栄養	大谷
14	1.24(金)	〃	〃	グループワーク 3	大谷

備 考

授業科目名	スポーツ実習Ⅰ		担当教員	嘱託講師 木原 勇夫		
開講年次及び学期	1 年前期（A・Bクラス）		必修・選択の別	必修		
開講形態	実習		時間数	30	単位数	1
授業概要 各種スポーツを中心とした諸々の身体活動を体育館および屋外運動場で実践する。 ・体 育 館：ソフトバレーボール， インディアカ， バドミントン， 卓球， ストレッチング， 縄とび他 ・屋外運動場：ウォーキング， テニス， ソフトボール， サッカー他						
G I O（一般目標） 各種のスポーツ実践を通して，運動と健康との関わりを理解するとともに，自ら健康関連体力を向上させることを目標とする。又，生涯にわたって適切な身体運動を継続させることにより，生活習慣病をはじめ身体機能低下の予防に役立てる方策を学ぶ。						
S B O（行動目標） ・自らの健康関連体力を知る ・各種スポーツの基礎知識や基本技能を身につける ・安全にしかも楽しく実践することにより，心身に好影響を与えることの再認識 ・運動療法としての処方法を習得する						
成績評価の方法 出席の状況および授業への取り組み方などを総合して評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 準備品 ・トレーニングウェア上・下 ・トレーニングシューズ屋内用・屋外用						
オフィスアワー 適宜						

授業科目名	情報科学概論	担当教員	教授 津本 周作 他			
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要 コンピュータ及び基本的なソフトウェアの使用法について実習形式で学ぶ。さらに、EBN（実証に基づく看護学）の実践に重要な役割を果たす情報処理，データ解析（統計解析を含む）の基本的手法について実習形式で学習する。						
G I O（一般目標） 1. コンピュータの操作方法を身につける。 2. ワードプロ，表計算，プレゼンテーションソフトの使用法を習得する。 3. 基本的な統計解析の考え方を習得する。 4. 計算機による統計処理に必要な基本的技能を習得する。						
S B O（行動目標） 1. ワードプロソフトを用いて，レポートを作成できる。 2. プレゼンテーションソフトを用いて，スライドを作成できる。 3. 表計算ソフトを用いて，データのグラフ化と基本統計量による要約ができる。 4. 表計算ソフトを用いて，回帰分析を行うことができる。 5. 表計算ソフトを用いて，基本的な確率の計算ができる。 6. 表計算ソフトを用いて，母平均の信頼区間を求めることができる。 7. 表計算ソフトを用いて，母平均に関する検定及びカイ二乗検定を行うことができる。						
成績評価の方法 期末に筆記試験を行う。可否は期末試験で定めた基準により判定する。 なお，必要に応じてレポート課題等を課すことがある。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教材はプリントにて配布する。						
オフィスアワー 随時						

授業計画

回	月日	曜日	時間	授業内容	担当
1	4月8日	月曜日	14:55～16:35	オリエンテーション, 電子メールの使い方, 情報セキュリティ	平野
2	4月15日	〃	〃	ワープロソフト, プレゼンテーションソフトの使い方	平野
3	4月22日	〃	〃	表計算ソフトの使い方	平野
4	5月13日	〃	〃	統計解析入門・基本統計量	平野
5	5月20日	〃	〃	相関分析・回帰分析 (1)	津本
6	5月27日	〃	〃	相関分析・回帰分析 (2)	津本
7	6月3日	〃	〃	母集団と標本	平野
8	6月10日	〃	〃	母数の推定	平野
9	6月17日	〃	〃	母平均の検定	平野
10	6月24日	〃	〃	平均値の差の検定	平野
11	7月1日	〃	〃	その他のパラメトリック検定	平野
12	7月8日	〃	〃	χ^2 検定	平野
13	7月12日	金曜日	〃	まとめと演習 (1)	全教員
14	7月22日	月曜日	〃	まとめと演習 (2)	全教員
15	未定			期末試験	全教員

備 考

担当教員 津本, 河村, 平野, 關
 講義場所 看護学科棟: 情報科学演習室
 テキスト 情報科学概論テキストを配布する

授業科目名	情報科学演習	担当教員	教授 津本 周作 他			
開講年次及び学期	1 年 後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1	
授業概要 EBN（実証に基づく看護学）の実践に重要な役割を果たす情報処理，データ解析の手法を活用し，看護学研究に実践できる技能を習得する。						
G I O（一般目標） 1．基礎的な調査票調査の実施法を習得する。 2．調査票データの基礎的な扱い方を習得する。 3．調査票データの分析法を習得する。 4．統計処理ソフトの使用方法を習得する。 5．コンピュータを用いて報告書を作成する能力を身につける。						
S B O（行動目標） 1．基礎的な調査票を作成することができる。 2．調査票のデータを正確に入力し，分析に必要な前処理を行なうことができる。 3．データの基礎的な集計を表計算ソフトで行える。 4．統計処理ソフトを用いて，統計学的検定を行える。 5．解析結果をまとめ，コンピュータを用いて報告書が作成できる。						
成績評価の方法 レポート及び課題						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教材はプリントにて配布する。参考図書はリストを配布する。その他の参考資料は必要時配布する。						
オフィスアワー 随時						

授業計画

回	月日	曜日	時間	授業内容	担当
1	10月7日	月曜日	16:50~18:30	オリエンテーション／質問紙調査法概論	平野
2	10月15日	火曜日	〃	質問項目の作成（1）	關
3	10月21日	月曜日	〃	質問項目の作成（2）	關
4	10月28日	〃	〃	予備調査の実施	關
5	11月11日	〃	〃	本調査の実施，データ入力	關
6	11月18日	〃	〃	回答のチェックとデータの前処理	關
7	11月25日	〃	〃	データ分析（1）	關
8	12月2日	〃	〃	データ分析（2）	關
9	12月9日	〃	〃	データ分析（3）	關
10	12月16日	〃	〃	図表の作成（1）	關
11	12月23日	〃	〃	図表の作成（2）	關
12	1月6日	〃	〃	レポート作成（1）	全教員
13	1月20日	〃	〃	レポート作成（2）	全教員
14	1月27日	〃	〃	課題回答	全教員

備 考

担当教員 津本，河村，平野，關
講義場所 看護学科棟：情報科学演習室

教 養 育 成 科 目

(出雲キャンパス開講科目)

授業科目名	人 間 行 動 論	担当教員	法文学部准教授 田中 一馬			
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	選択			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要						
欧米における倫理学の諸理論を概観します。 わたしたちは、社会生活を営む者としてすでに何らかの倫理観を持ち合わせ、それに基づいて生きています。自分が関わりを持つ人々の間で倫理観にさほどの違いがなければ、自分の倫理観について改めて反省する機会はないかもしれません。しかし、実際は多かれ少なかれ、倫理観の相違を意識する場合があるものです。 また、これまで自分が直面したことのないような状態に身を置くと、持ち合わせている倫理観に基づくだけでは対応しきれないことがあるかもしれません。倫理学は一つには、これらの場合に適切な行動の指針を提供することを目的としています。 しかし、倫理学上の諸見解は、それぞれ一定の前提に立脚しつつその主張を構築しており、無条件の正しさを持つわけではありません。個別の見解が前提している事柄は何か、そしてそこから一つの見解がどのような論理によって構築されているのか、などを客観的に理解することもまた、倫理学の目的の一つなのです。 授業では、倫理学が有するこれら二つの目的に十分留意しながら、受講する人が自ら倫理的思考を展開してもらえよう、話題を提示しようと考えています。						
G I O（一般目標）						
1. 欧米における倫理学の全体像（とりわけその論理構造や主張）を理解する。 2. 倫理的な正しさやよさについて、自ら多面的に考える力を身につける。						
S B O（行動目標）						
1. 倫理学を構成するさまざまな立場の区分について、説明することができる。 2. 倫理学を構成するさまざまな立場が拠って立つ前提について、説明することができる。 3. 倫理学を構成するさまざまな立場の特徴について、説明することができる。 4. 学んだ倫理的な見地をもとに、自分自身の倫理観を批判的に分析することができる。 5. 倫理的な見地から検討を要すると思われる具体的な問題について、考察することができる。						
成績評価の方法						
期末に試験を実施します（これが100点満点です）。 授業時に発言を求めることがあります。自発的な発言は、上記100点満点とは別に、極めて高く評価します（発言をなさなくてもマイナスにはなりません）。 その他成績評価の詳細（試験の採点基準など）については、第1回目の授業で説明します。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書 特に指定しません。プリントを適宜配付します。 参考書 伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』名古屋大学出版会、2008年、2940円 その他、授業中に適宜紹介します。						
オフィスアワー						
毎週火曜日の授業直後でしたら、教室で時間が取れます。また（オフィスアワー本来の趣旨からは外れますが）、前もって申し込んでいただければ、毎週金曜日のお互い都合がつく時間帯に、松江キャンパス（私の研究室など）でお会いします。						
授業に対するご質問などは、メールでお寄せ下さい。 kazuma@soc.shimane-u.ac.jp までどうぞ。						

授業計画

回	月日	時間	場所	授業内容	授業内容
1	4.9(火)	10:15～12:05	L3	はじめに	倫理についての大まかな把握／授業の進め方について
2	4.16(火)	〃	〃	メタ倫理学(1)	相対主義：倫理に絶対の正しさはないのか？
3	4.23(火)	〃	〃	メタ倫理学(2)	指令主義：「よしあし」と「好き嫌い」はどう違うか？
4	5.7(火)	〃	〃	メタ倫理学(3)	ヒュームの法則：「である」から「べし」は導けるか？
5	5.14(火)	〃	〃	規範倫理学(1)	功利主義（その１）：基本的な考え方と種類
6	5.21(火)	〃	〃	規範倫理学(2)	功利主義（その２）：功利主義への批判
7	5.28(火)	〃	〃	規範倫理学(3)	功利主義（その３）：批判への対応
8	6.4(火)	〃	〃	規範倫理学(4)	義務論：基本的な考え方・種類・寄せられる批判
9	6.11(火)	〃	〃	規範倫理学(5)	徳倫理学：基本的な考え方・種類・寄せられる批判
10	6.18(火)	〃	〃	規範倫理学(6)	正義論（その１）：契約説の基本的な考え方
11	6.25(火)	〃	〃	規範倫理学(7)	正義論（その２）：現代の正義論
12	7.2(火)	〃	〃	応用倫理学(1)	インフォームド・コンセントはなぜ必要か？
13	7.9(火)	〃	〃	応用倫理学(2)	優生思想と「人間の尊厳」をめぐって
14	7.16(火)	〃	〃	おわりに	倫理的に考えるということ／期末試験について

備 考

毎回の授業内容は、事情により変更する可能性があります。変更がある場合は、改めてお知らせします。

授業科目名	細胞生物学	担当教員	教授 橋本 龍樹			
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要						
細胞の構成成分，細胞内小器官・細胞の構造と機能，代謝の仕組み，細胞分裂・分化・老化・死といった生命現象の基本を解説する。						
達成目標（達成度）						
G I O（一般目標）						
細胞における生命現象の基本と動物の組織・器官を学び，ヒトを理解する基礎を築く。						
S B O（行動目標）						
1. 細胞の構造，細胞構成成分，細胞内小器官の働きを説明できる。						
2. 遺伝子の複製，転写，翻訳の分子レベルでの仕組みについて説明できる。						
3. 細胞の増殖，分化，老化，死について説明できる。						
4. 細胞が集団を形成し組織をつくる仕組みと動物の器官の働きを説明できる。						
5. 神経系と神経伝達物質を説明できる。						
6. 免疫の仕組みを説明できる。						
7. がんとがん細胞について理解する。						
授業の進め方						
液晶プロジェクターで資料を提示し，時として板書しながら進める。						
授業キーワード						
細胞，遺伝子，細胞分裂，細胞分化，細胞死，組織，器官，がん						
成績評価の方法						
期末テストおよび授業への取り組み（予習，復習，出席等）で評価する。						
5 回以上欠席した場合には未修とする。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書 田村隆明著 医療・看護系のための生物学（改訂版） 裳華房						
参考書 中村桂子，松原謙一監訳 エッセンシャル細胞生物学第 3 版 南江堂						
和田勝著「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」羊土社						
プリントを適宜配布する。						

授業計画

回	日程	テーマ	授業内容	担当者
1	4月9日	細胞	細胞膜と細胞内小器官について	橋本 (臨床看護学講座)
2	4月16日	生物を構成する物質	生体を構成しているタンパク質, 脂質, 核酸など	橋本 (臨床看護学講座)
3	4月23日	細胞の栄養と代謝	細胞呼吸とエネルギー産生	橋本 (臨床看護学講座)
4	5月7日	遺伝とDNA	遺伝子の複製の分子レベルでの仕組み	福田 (臨床看護学講座)
5	5月14日	遺伝情報の発現	転写, 翻訳の分子レベルでの仕組み	福田 (臨床看護学講座)
6	5月21日	細胞の増殖と死	細胞分裂とアポトーシス	福田 (臨床看護学講座)
7	5月28日	免疫	体液性免疫と細胞性免疫	福田 (臨床看護学講座)
8	6月4日	バイオテクノロジーと医療	生物学の応用	福田 (臨床看護学講座)
9	6月11日	生殖, 発生, 分化	配偶子形成, 受精, 細胞の分化	橋本 (臨床看護学講座)
10	6月18日	動物の組織と器官	上皮組織, 結合組織, 筋組織, 神経組織。動物を構成している器官と器官系について	橋本 (臨床看護学講座)
11	6月25日	神経系	神経細胞と神経間の伝達	橋本 (臨床看護学講座)
12	7月2日	微生物と感染症Ⅰ	微生物の特徴	藤川 (病態病理学講座)
13	7月9日	微生物と感染症Ⅱ	微生物が感染する機構	藤川 (病態病理学講座)
14	7月16日	がん細胞と老化	がん細胞の発生の仕組みと特徴 細胞の老化の意味	大原 (病態病理学講座)
備 考				

授業科目名	生物有機化学	担当教員	嘱託講師 久保 恭男			
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	選択			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要						
生体物質に関係した有機化学の入門コースである。有機化学は、命あるものの産物として出発したが、その後、多くの有機化合物が人工的に合成できるようになり、炭素化合物の化学へと変貌を遂げた。現在までに約2,000万種にもおよぶ物質の存在が確認されているが、その90%近くが構成元素として炭素を含んでおり、それら膨大な数の炭素化合物を扱う化学が有機化学である。 また、生体は、主に糖質、脂質、タンパク質、核酸等の有機物質から構成されており、特に生命現象や生体の機能、さらには疾患の原因などを分子レベルで理解するには、それらの生体有機物質の化学構造、性質、機能などに関する化学的な理解が不可欠である。この授業では、まず化学の基礎として原子・分子、化学結合について述べ、次に基本的な官能基をもつ有機化合物の性質や反応を説明し、さらにその官能基の性質や反応性に基づいて糖質、脂質、アミノ酸・タンパク質、核酸の基本的な構造と性質・機能等について解説する。						
G I O（一般目標）						
有機化学は、私達の生活に密接に関わっている。人の体は主に有機化合物によって作られており、現代社会は人工的に合成された有機物質の中にどっぷりと浸かっている。この授業は、有機化学の基本を修得することにより、生命現象や生体の機能、さらには疾患の原因などを分子レベルで理解する素地をつくることを目的としている。						
S B O（行動目標）						
1. 電子の軌道を説明できる。 2. 原子の電子配置を決定する組み立て原理（パウリの排他原理等）を説明できる。 3. イオン結合、共有結合を説明できる。 4. 炭素原子を例にとり、混成軌道を説明できる。 5. 単結合、二重結合と三重結合を説明できる。 6. 有機化合物の主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 7. 置換反応、脱離反応、付加反応など基本的な有機反応を説明できる。 8. 糖質（単糖類、二糖類、多糖類）の基本的な構造と機能を説明できる。 9. 脂質の基本的な構造と機能を説明できる。 10. アミノ酸の種類と性質を説明できる。 11. タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる。 12. 糖、塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの種類と性質を説明できる。 13. 核酸（DNA、RNA）の構造と機能を説明できる。						
成績評価の方法						
期末試験により評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書 使用しない。必要に応じて資料を配布する。						
参考書 1. 池田他著「有機化学入門」第2版（廣川書店） 2. 赤路他著「生命系の基礎有機化学」（化学同人）						
オフィスアワー						
試験前に時間枠を設定する（別途通知）。						

授業計画

回	月日	時間	教室	テーマ	授 業 内 容	担当者
1	4.9 (火)	14:55～ 16:35	N11	原子の電子配置	原子軌道，原子の電子配置と周期律，原子のイオン化ポテンシャル・電子親和力・電気陰性度	久保
2	4.16 (火)	〃	〃	分子の形成 (1)	イオン結合と共有結合，混成軌道	久保
3	4.23 (火)	〃	〃	分子の形成 (2)	多重結合，共役と共鳴理論	久保
4	5.7 (火)	〃	〃	有機化合物の性質と反応 (1)	アルカンとシクロアルカン，立体化学	久保
5	5.14 (火)	〃	〃	有機化合物の性質と反応 (2)	アルケンとアルキン，芳香族化合物	久保
6	5.21 (火)	〃	〃	有機化合物の性質と反応 (3)	アルコール，アルデヒドとケトン	久保
7	5.28 (火)	〃	〃	有機化合物の性質と反応 (4)	カルボン酸とその誘導体	久保
8	6.4 (火)	〃	〃	糖質の化学 (1)	単糖類の構造と性質	久保
9	6.11 (火)	〃	〃	糖質の化学 (2)	オリゴ糖類の構造と性質，多糖類の構造と機能	久保
10	6.18 (火)	〃	〃	脂質の化学	脂質の構造と機能	久保
11	6.25 (火)	〃	〃	タンパク質の化学 (1)	アミノ酸の種類と性質，ペプチドの構造と機能	久保
12	7.2 (火)	〃	〃	タンパク質の化学 (2)	タンパク質の構造と機能	久保
13	7.9 (火)	〃	〃	核酸の化学 (1)	糖，塩基，ヌクレオシド，ヌクレオチドの種類と性質	久保
14	7.16 (火)	〃	〃	核酸の化学 (2)	核酸 (DNA, RNA) の構造と機能	久保
15	7.23 (火)	〃	〃		期末試験	久保
備 考						

授業科目名	地域医療学		担当教員	教授 熊倉 俊一 他		
開講年次及び学期	1 年 後期		必修・選択の別	選択		
開講形態	講義（医学科・看護学科合同）	時間数	30	単位数	2	
授業概要						
地域医療学では、地域社会における医療を多元的な視点から理解することを目指します。また、地域医療が抱える課題を解決するための方略を学ぶとともに、地域医療へ対する使命感を養います。						
学修成果（到達目標）						
1. 地域医療の現状と問題点について説明できる。 2. 島根県の地域医療の現状と問題点について理解し、解決策を提案できる。 3. 医療を支える多職種間連携の必要性が理解できる。 4. 病診連携、病病連携、行政との連携の必要性について説明できる。 5. へき地における医師の役割が理解できる。 6. 地域における疾病予防、健康増進の取り組みについて具体的な事例にもとづき説明できる。 7. 地域包括ケアシステムの概念、保健・医療・福祉・介護のつながりについて説明できる。 8. 世界の国々と日本との地域医療を相対的に比較検討し、特徴を分析できる。 9. 災害医療体制の変遷について説明できる。 10. 地域医療に対する使命感をもつことができる。						
授業の進め方						
講義およびスモールグループディスカッションを基本とする。						
キーワード						
地域医療、多職種連携、地域包括ケアシステム、疾病予防・健康増進、災害医療						
成績評価の方法						
総括評価 ・小テスト（授業時間内で実施するレポート） 全体に占める割合：50％ ・期末試験（課題に対するレポート試験） 全体に占める割合：50％ 形成的評価 ・試験終了後に、小テスト、レポートは返却する。自己のポートフォリオ評価として、今後の学修に活用する。 合否基準 ・小テスト、レポート試験の総得点を100点満点に換算したうち60点以上						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書 なし 参考書 1. World Health Organization. Increasing access to health workers in remote and rural areas through improved retention. Global policy recommendations. http://www.who.int/hrh/retention/guidelines/en/ 2. Nojima Y, Kumakura S, et al. Job and life satisfaction and preference of future practice locations of physicians on remote islands in Japan. Human Resources for Health 2015, 13:39 3. 地域医療テキスト 自治医科大学監修 医学書院 2009 4. 地域がうごく・健康な街づくりへー島根におけるヘルス・プロモーションの試みー 1995 5. これから地域保健を担う人たちにー島根県の取り組みの実践からー 2010 6. 村で病気とたたかう 若月俊一 岩波新書 1971年 7. 草の根に生きるー愛媛の農村からの報告 岩波新書 1973年（絶版のため地域医療支援学から貸し出し可） 8. 島根の医療 島根県HP https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/shimaneno_iry/shuchou.html						
オフィスアワー						
熊倉俊一（医学科長、地域医療教育学）質問等随時 講座HP お問い合わせフォームより 佐野千晶（地域医療支援学）質問等随時 E-mail: career@med.shimane-u.ac.jp 講師の先生方への質問を、随時受け付けますので、 career@med.shimane-u.ac.jp に連絡して下さい。						

授業計画

回	月日	時間	場所	授業内容	担当
1	10.4(金)	13:00～14:40	L3	地域医療とは	佐野
2	10.11(金)	〃	〃	離島の地域医療	白石
3	10.25(金)	〃	〃	中山間地の地域医療Ⅰ	長坂
4	11.1(金)	〃	〃	中山間地の地域医療Ⅱ	阿部
5	11.8(金)	〃	〃	市街地の地域医療	杉浦
6	11.15(金)	〃	〃	多職種連携Ⅰ	熊倉・佐野
7	11.22(金)	〃	〃	多職種連携Ⅱ	熊倉・佐野
8	11.29(金)	〃	〃	地域包括ケア	谷口
9	12.6(金)	〃	〃	公衆衛生行政と地域医療	村下
10	12.13(金)	〃	〃	高齢社会と地域医療	杉谷
11	12.20(金)	〃	〃	海外の地域医療	熊倉
12	12.27(金)	〃	〃	ネパールでの医療貢献：その限界と将来	森
13	1.10(金)	〃	〃	災害医療	渡部
14	1.24(金)	〃	〃	医学史－華岡流外科の普及と近代医学	梶谷
備 考					

專 門 教 育 科 目

專 門 基 礎 科 目

授業科目名	人 間 心 理 I	担当教員	教授 熊倉 俊一		
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義（医学科・看護学科合同）	時間数	30	単位数	2
授業概要 人は、苦しみを避け、自己の幸せ・安楽を求める利己的な存在である。しかし、人は、常に他者との関わりで生存する。その意味で、人は、利他的・道徳的であるべきである。「行動科学」では、人の行動と心理との関係を学び、他者や社会に対して適切な行動をとることができる資質を培う。 また、人が病気になったときの心理と行動、さらに、人の習慣や行動が健康や疾患に与える影響について理解を深める。					
学修成果（到達目標） 1. 人の行動は、個の価値観や幸福観、感性、経験、欲望、利己・利他的感覚、理性、道徳的観念などさまざまな要因により規定されることを理解できる。 2. 他者の心理や行動を理解・支持し、良好な人間関係を構築できる。 3. 健康における精神と身体との関係を説明できる。 4. タバコ、アルコール、危険な性行為、食生活・運動不足など人の習慣・行動は、さまざまな病気の原因やリスクになることを説明できる。 5. 人の行動変容と疾病予防、健康増進について具体的に述べることができる。					
授業の進め方 スモールグループディスカッション・プレゼンテーション（アクティブ・ラーニング）を基本とする。					
キーワード 心理、行動、科学者、医師・看護師、患者、精神と身体、習慣と疾患、予防・健康増進					
成績の評価方法 総括評価 小テスト（授業時間内で実施するレポート） 全体に占める割合：50% 期末試験（課題に対するレポート試験） 50% 全体に占める割合：50% 形成的評価 グループワーク、プレゼンテーション時に担当教員がフィードバックする。 試験終了後に、小テスト、レポートは返却する。自己のポートフォリオ評価として、今後の学修に活用する。 合否基準 小テスト、レポート試験の総得点を100点満点に換算したうち60点以上					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 「存在と苦悩」ショーペンハウアー（金森誠也訳）白水社 「原子爆弾1938～1950年」ジム・バゴット（青柳伸子訳）作品社 「ロバート・オッペンハイマー：愚者としての科学者」藤永茂 朝日選書 「この子を残して」永井 隆 アルバ文庫 Patterns of tobacco use. Rigotti N. UpToDate Management of smoking cessation in adolescents. Rosen JB, et al. Behavioral approaches to smoking cessation. Park ER. UpToDate Risky drinking and alcohol use disorder: Epidemiology, pathogenesis, clinical manifestations, course, assessment, and diagnosis. Tetrault JM, et al. UpToDate					
オフィスアワー 月～金					

授業計画

回	月日	時間	場所	授業内容	担当
1	4/11	14:55～ 16:35	L3	心理と行動 1	心理士・和田 (保健管理センター)
2	4/18	〃	L3	心理と行動 2	心理士・和田 (保健管理センター)
3	4/25	〃	L3	志と行動	卒後臨床研修 センター 鬼形・熊倉
4	5/9	〃	L3	ワークライフバランス	地域医療支援学 佐野
5	5/16	〃	L3, チュート リアル室	科学者の苦悩 1	地域医療教育 熊倉
6	5/23	〃	L3, チュート リアル室	科学者の苦悩 2	地域医療教育 熊倉
7	5/30	〃	L3	コミュニケーション・意思決定プロセス	臨床研究セン ター 大野
8	6/6	〃	L3, チュート リアル室	行動・習慣と健康 1 タバコ	呼吸器・臨床 腫瘍学 磯部
9	6/13	〃	L3, チュート リアル室	行動変容と健康 1 禁煙指導 (ロールプレイ)	呼吸器・臨床 腫瘍学 磯部
10	6/20	〃	L3, チュート リアル室	行動・習慣と健康 2 アルコール	精神科 大拙・岡崎
11	6/27	〃	L3, チュート リアル室	行動変容と健康 2 禁酒指導 (ロールプレイ)	精神科 大拙・岡崎
12	7/4	〃	L3	ストレスと健康	保健管理セン ター 江副
13	7/11	〃	L3, チュート リアル室	がんと患者心理・行動 1 告知後の心理	精神科 稲垣
14	7/18	〃	L3, チュート リアル室	がんと患者心理・行動 2 患者を支えること	精神科 稲垣
備 考					

授業科目名	感 染 と 免 疫		担当教員	教授 福田 誠司 他		
開講年次及び学期	1 年 後期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要 種々の病原微生物に関する生物学的知識と，生体側の感染防御機構である免疫の仕組みの基本を学び，個々の病原体や免疫系の異常によって起こる各種疾患の成り立ち，病態生理，治療，回復の促進，予防法について学ぶ。						
G I O（一般目標） 病原微生物と免疫の仕組みの基本を知り，各種感染症や免疫疾患について学ぶ。人間や健康を総合的にとらえ，身体状態をアセスメントし，根拠に基づいた看護を提供するために看護実践上必要な基礎的知識や，地域住民に健康情報を提供できる知識を習得する。						
S B O（行動目標） 1．各種病原微生物の生物学的特質と抗菌剤の作用機序について説明できる。 2．病原微生物による感染症の診断，予防の概要を説明できる。 3．特異的生体防御機構としての免疫系について概説できる。 4．特殊な感染症（日和見感染，院内感染，薬剤耐性菌）について理解できる。 5．病棟における感染予防について説明できる。						
成績の評価方法 出席および筆記試験により行う。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：系統看護学講座「疾病のなりたちと回復の促進 微生物学」，医学書院						

授業計画

回	月日	時間	テーマ	授 業 内 容	担当
1	10月3日	13:00～ 14:40	感染と免疫概論	感染と免疫について概略を学ぶ。	福田
2	10月10日	〃	免疫学 1	免疫担当細胞，体液性免疫，細胞性免疫，免疫応答の調節機構，免疫不全状態について学ぶ。	原田
3	10月24日	〃	免疫学 2		原田
4	10月31日	〃	免疫学 3		原田
5	11月7日	〃	免疫関連疾患	アレルギー性疾患と自己免疫疾患について学ぶ。	福田
6	11月14日	〃	感染の機構／ 感染症の症状	感染の機構，感染症の徴候と症状について学ぶ。	福田
7	11月21日	〃	ウイルス学・ウイルス感染症	ウイルスの成り立ち，生物学的特性について学ぶ	福田
8	11月28日	〃	ウイルス学・ウイルス感染症	個々の病原ウイルスによって惹起される感染症の症状，診断，治療，予防法について学ぶ。	福田
9	12月5日	〃	真菌・原虫感染症	真菌と原虫の生物学的特性，感染制御における看護職の役割について学ぶ。	福田
10	12月12日	〃	細菌学（総論）	微生物の成り立ち，各種病原微生物の生物学的特性について学ぶ。	佐野
11	12月19日	〃	細菌学（各論）	個々の細菌によって惹起される感染症の症状，診断，治療，予防法について学ぶ。	佐野
12	1月9日	〃	滅菌と消毒／ 感染症の検査と診断	滅菌と消毒，感染症の検査と診断について学ぶ	福田
13	1月16日	〃	感染症の治療／ 感染症の現状と対策	感染症の治療，感染症の現状と対策について学ぶ。	福田
14	1月23日	〃	院内感染予防	院内感染予防について学ぶ。	城
備 考					

授業科目名	形態と機能Ⅰ	担当教員	教授 橋本 龍樹 他			
開講年次及び学期	1 年 通年	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義及び演習	時間数	60	単位数	2	
授業概要						
・ヒトの構造と機能を関連づけて学習する。 ・細胞，組織学，筋骨格器系，消化器系，循環器系，呼吸器系，泌尿器系，内分泌系について解剖学及び生理学について学習する。 ・指定した教科書，プリント，模型等を用いて授業を行い，人体の立体的な構造について説明する。 ・後期には人体解剖学実習を行い，実際にご遺体に接する機会であり，解剖学の知識だけではなく，命の尊厳について学習します。						
G I O（一般目標）						
・看護師になったとき，患者様の訴えを正しく理解し，病気の本質を見極めるために必要な知識を習得する事を目標とする。 ・看護学を学習するために必要な基礎知識を習得し，アセスメントや看護援助の基礎を確立することを目標とする。						
S B O（行動目標）						
1. 人体の正常な構造と名称，形態，立体的な位置関係が説明できる。 2. 各器官系の機能や生態における役割が説明できる。 3. 生命誕生から成人を経て高齢者となるライフステージにおける人体の変化が説明できる。 4. 解剖学実習を通じて生命の尊厳について理解できる。						
成績評価の方法						
・出席状況及び筆記試験により判定する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書：「系統解剖学講座 専門基礎1 解剖生理学」 医学書院 系統解剖学講座準拠「解剖生理学ワークブック」医学書院						
参考図書：「カラー人体解剖学，構造と機能：ミクロからマクロまで」井上貴央監訳 西村書店 「現代の解剖学 改定新版」山田安正著 金原出版 「人体解剖学」改訂42版 藤田恒太郎 南江堂 「からだの構造と機能」 三木明德・井上貴央監訳 西村書店						

授業計画

回	月 日	時間	テーマ・授業内容	担当
1	4 月 8 日	13:00～14:40	解剖生理学の基礎・生体の恒常性	橋本
2	4 月15日	13:00～14:40	ヒトを構成する細胞と組織	橋本
3	4 月22日	13:00～14:40	身体の支持と運動 1（骨形成と関節）	橋本
4	5 月13日	13:00～14:40	身体の支持と運動 2（骨格）	橋本
5	5 月20日	13:00～14:40	骨学演習	橋本
6	5 月27日	13:00～14:40	身体の支持と運動 3（体幹の筋肉）	橋本
7	6 月 3 日	13:00～14:40	身体の支持と運動 4（四肢の筋肉）	橋本
8	6 月10日	13:00～14:40	栄養の消化と吸収 1（総論）	橋本
9	6 月17日	13:00～14:40	栄養の消化と吸収 2（消化管）	橋本
10	6 月24日	13:00～14:40	栄養の消化と吸収 3（肝胆膵）	橋本
11	7 月 1 日	13:00～14:40	栄養の消化と吸収 4（生理学）	橋本
12	7 月 8 日	13:00～14:40	血液の循環とその調節 1（心臓）	橋本
13	7 月12日 (金)	13:00～14:40	血液の循環とその調節 2（脈管系）	橋本
14	7 月15日	13:00～14:40	血液の循環とその調節 3（血圧の調整）	橋本
15			試験	

備 考

N11教室で行います。毎週月曜日 3 コマ目に行います。

授業計画

回	月 日	時間	テーマ・授業内容	担当
15	10月 7 日	10:25～12:05	呼吸器系 1（上気道）	橋本
16	10月15日 (火)	10:25～12:05	呼吸器系 2（気管，気管支，肺）	橋本
17	10月21日	10:25～12:05	呼吸の生理	橋本
18	10月28日	10:25～12:05	泌尿器系（腎臓，尿管，膀胱，尿道）	橋本
19	11月11日	10:25～12:05	体液の調節	橋本
20	11月18日	10:25～12:05	内分泌系 1（視床下部，下垂体）	橋本
21	11月25日	10:25～12:05	内分泌系 2 （甲状腺，副腎，ランゲルハンス島）	橋本
22	12月 2 日	10:25～12:05	解剖学実習のオリエンテーション	橋本
23	12月11日 (水)	13:00～16:35	解剖学実習 1	橋本・ 福田他
24				
25	12月18日 (水)	13:00～16:35	解剖学実習 2	橋本・ 福田他
26				
27	12月25日 (水)	13:00～16:35	解剖学実習 3	橋本・ 福田他
28				
			試験	

備 考

N11教室で行います。毎週月曜日 2 コマ目に行います。

10月15日(火) 2 コマ目に行います。

12月11日，18日，25日 3 コマ・4 コマ目には解剖学実習を行います。

授業科目名	形態と機能Ⅱ	担当教員	教授 橋本 龍樹 他			
開講年次及び学期	1 年 後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要						
・ ヒトの構造と機能を関連づけて学習する。 ・ 中枢神経系，末梢神経系，自律神経系，感覚器系，生殖器系，人体発生学，血液について解剖学及び生理学について学習する。 ・ 指定した教科書，プリント，模型等を用いて授業を行い，人体の立体的な構造について説明する。						
G I O（一般目標）						
・ 看護師になったとき，患者様の訴えを正しく理解し，病気の本質を見極めるために必要な知識を習得する事を目標とする。 ・ 看護学を学習するために必要な基礎知識を習得し，アセスメントや看護援助の基礎を確立することを目標とする。						
S B O（行動目標）						
1. 人体の正常な構造と名称，形態，立体的な位置関係が説明できる。 2. 各器官系の機能や生態における役割が説明できる。 3. 生命誕生から成人を経て高齢者となるライフステージにおける人体の変化が説明できる。						
成績評価の方法						
・ 出席状況及び筆記試験により判定する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書：「系統解剖学講座 専門基礎 1 解剖生理学」医学書院 系統解剖学講座準拠「解剖生理学ワークブック」医学書院						
参考図書：「カラー人体解剖学，構造と機能：ミクロからマクロまで」井上貴央監訳 西村書店 「現代の解剖学 改定新版」山田安正著 金原出版 「人体解剖学」改訂42版 藤田恒太郎 南江堂 「からだの構造と機能」三木明德・井上貴央監訳 西村書店						

授業計画

回	月 日	時間	テーマ・授業内容	担当
1	10月2日	10:25～12:05	中枢神経系1（大脳，間脳）	橋本
2	10月9日	10:25～12:05	中枢神経系2（中脳，橋，延髄，脊髄）	橋本
3	10月16日	10:25～12:05	末梢神経系1（頸髄，胸髄からの脊髄神経）	橋本
4	10月23日	10:25～12:05	末梢神経系2（腰髄，仙髄からの脊髄神経）	橋本
5	10月30日	10:25～12:05	自律神経系（交感神経，副交感神経）	橋本
6	11月6日	10:25～12:05	感覚器系1（嗅覚，視覚）	橋本
7	11月13日	10:25～12:05	感覚器系2（味覚，聴覚，平衡覚）	橋本
8	11月20日	10:25～12:05	男性生殖器（精巣，前立腺，陰嚢，陰茎）	橋本
9	11月27日	10:25～12:05	女性生殖器1（卵巣，卵管）	橋本
10	12月4日	10:25～12:05	女性生殖器2（子宮，膣，外陰部）	橋本
11	12月11日	10:25～12:05	人体発生学1（精子及び卵子形成，受精，胎芽）	橋本
12	12月18日	10:25～12:05	人体発生学2（胎児，胎盤，出産）	橋本
13	1月8日	10:25～12:05	血液1（血液の組成と機能）	福田
14	1月15日	10:25～12:05	血液2（生体の防御と免疫系）	福田
15			試験	

備 考

N11教室で行います。毎週水曜日2コマ目に行います。
担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。

授業科目名	環 境 保 健 学		担当教員	教授 小笹 美子 他		
開講年次及び学期	1 年 後期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要						
衛生・公衆衛生の概要を学ぶ。個人の健康と疾病リスク，疾病予防と健康増進について，さらに社会の中で集団としてとらえた場合の疾病予防と健康増進について学ぶ。一方，私たちの生活は，様々な環境要因の中で営まれている。これら生活環境と健康との関係を学ぶ。なお，1年生の後期の講義なので，講義の中で主要な疾病そのものに関する概略の知識が持てるようにする。 さらに，人々の生活環境をより良いものとする目的をもって行われる環境行政・公衆衛生や地域における健康危機管理・災害看護，国際保健医療について概説する。						
G I O（一般目標）						
1. 衛生・公衆衛生の概要を理解する。 2. 疾病リスクと予防，健康増進について理解する。 3. 疫学統計を通して個人・集団の健康を考える方法を理解する。 4. 様々な環境と人間の健康との関わりを理解する。 5. 環境保健をすすめる行政施策を理解する。 6. 健康増進に関連する政策と保健活動について理解する。 7. 国際保健医療について理解する。 8. 地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について理解できる。						
S B O（行動目標）						
1. 衛生・公衆衛生の概要を説明できる。 2. 疾病構造の変遷，疾病対策，医療対策の動向と公衆衛生について説明できる。 3. 疾病リスクと予防について疫学の視点から説明できる。 4. 個人の健康と集団との関係を概説できる。 5. 環境要因と健康の関係を説明できる。環境をアセスメントし，健康との関わりが説明できる。 6. 疾病予防の方法と環境行政について説明できる。 7. 健康増進に関連する政策と保健活動について説明できる。 8. グローバリゼーション・国際化の動向における看護のあり方について理解できる。 9. 地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について概説できる。						
成績評価の方法						
ミニテスト，課題レポートおよび学期末筆記試験により行う。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教科書：小山 洋 他編集，シンプル衛生公衆衛生学2019，南江堂，2019。						

授業計画

回	月 日	内 容	担当
1	10月3日	衛生学・公衆衛生学序論	小笹 美子
2	10月10日	公衆衛生と保健所	出雲保健所所長 牧野由美子
3	10月24日	疾病予防と健康管理（循環器，がん）	佐藤美紀子／井上 和子 小笹 美子
4	10月31日	健康危機管理（含む感染症）	小笹 美子
5	11月7日	公衆衛生のキーワード（発表）	小笹 美子
6	11月14日	環境と健康	出雲保健所環境保全課長 山根 宏
7	11月21日	疫学序論	島根大学名誉教授 小林 裕太
8	11月28日	環境保健と研究（卒研参加）	
9	12月5日	健康指標と保健統計	島根大学名誉教授 小林 裕太
10	12月12日	健康増進	小笹 美子
11	12月19日	ヘルスプロモーション	小笹 美子
12	1月9日	疾病予防と健康管理（メンタルヘルス）	出雲保健所心の健康支援課 小笹 美子
13	1月16日	地域づくりと健康づくり	小笹 美子
14	1月23日	国際保健医療・災害医療	小笹 美子
	1月27日	試験	

備 考

環境保健学（木）10:25～12:05

欠席は試験で1回につき2点減点，遅刻は授業態度で減点します。

成績評価：授業態度，発表，レポート，筆記試験で評価します。

授業科目名	栄 養 と 代 謝		担当教員	教授 橋本 龍樹 他		
開講年次及び学期	1 年 後期		必修・選択の別	必修		
開講形態	講義		時間数	28	単位数	2
授業概要 生命維持に必要な栄養素や生体構成成分の機能，それらの代謝および身体機能恒常性維持の機構について学ぶ。一方，健康の保持増進，疾病予防のために必要な食生活について学習する。さらには，治療の一環としての食事指導，経管栄養，病院における栄養サポートチームの意義などに必要な知識を習得する。						
G I O（一般目標） 生命現象と生体構成成分との関係を理解し，生体の内部環境の維持の仕組みとその重要性を知る。生命維持に必要な栄養素の役割を理解し，健康の保持増進，疾病予防のために必要な食生活の基礎知識を得る。対象者の栄養状態をアセスメントし，必要な対応について説明できる。各種疾患に対する食事療法や経管栄養，病院における栄養サポートチームの意義などの知識を習得する。						
S B O（行動目標） 1. 各栄養素についてそれぞれの栄養的役割が説明できる。 2. 食品群の特色を知り，栄養との関係について説明できる。 3. 糖質，脂質，たんぱく質の代謝について理解し，説明できる。 4. ビタミン，水分・無機質代謝と身体機能恒常性維持との関係について説明できる。 5. 核酸代謝，遺伝情報の発現とその制御について，概略が説明できる。 6. 対象者の栄養状態をアセスメントし，必要な対応が説明できる。 7. 健康の保持増進，疾病予防のために必要な食生活について説明できる。 8. 病院における栄養サポートチームの意義について説明できる 9. 疾病における食事指導，経管栄養などについて概要を説明できる。						
成績評価の方法 学期末の筆記試験により評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：「栄養学」系統看護学講座 専門基礎3 医学書院 参考書：「新体系看護学全書 2 栄養生化学」第4版 メヂカルフレンド社 「よくわかる専門基礎講座 栄養学」津田とみ，金原出版 「日本食品成分表2017」医歯薬出版						

授業計画

回	月日	時間	テーマ	授 業 内 容	担当者
1	10月3日	16:50～18:30	栄養と生化学	5大栄養素，代謝と生命活動について学ぶ。	橋本
2	10月10日	16:50～18:30	食物と栄養	健康と栄養，食品群の特徴と栄養との関係を学ぶ。	橋本
3	10月24日	16:50～18:30	食事摂取基準／成長・生活と栄養	食事摂取基準について，ライフサイクルと栄養について学ぶ。	橋本
4	10月31日	16:50～18:30	生体エネルギーと代謝	生体エネルギーと代謝について学ぶ。	橋本
5	11月7日	16:50～18:30	たんぱく質，アミノ酸	たんぱく質とアミノ酸の構造，性質，たんぱく質の消化吸収と栄養的役割，体内での代謝と関連疾患について学ぶ。	中村先生
6	11月14日	16:50～18:30	酵素	酵素の特性と臨床への応用について学ぶ。	中村先生
7	11月21日	16:50～18:30	糖質の栄養生化学	糖質の構造，性質，糖質の消化吸収と栄養的役割，体内での代謝と関連疾患について学ぶ。	日吉先生
8	11月28日	16:50～18:30	脂質の栄養生化学	脂質の構造，性質，脂質の消化吸収と栄養的役割，体内での代謝と関連疾患について学ぶ。	日吉先生
9	12月5日	16:50～18:30	ビタミンとミネラル	ビタミンとミネラルについて構造，性質，吸収と栄養的役割，関連疾患について学ぶ。	日吉先生
10	12月12日	16:50～18:30	その他の生体内の物質	リポたんぱく質，ポルフィリン，ヌクレオチドと核酸の構造と代謝について学ぶ。	橋本
11	12月19日	16:50～18:30	遺伝情報	DNAの複製，転写と翻訳，遺伝子操作について学ぶ。	橋本
12	1月9日	16:50～18:30	食事療法	疾病治療における食事療法の重要性について学ぶ。	橋本
13	1月16日	16:50～18:30	栄養サポートチーム	病院食と栄養サポートチームについて学ぶ	矢野先生
14	1月23日	16:50～18:30	経管栄養	経管栄養，胃ろうの基本と管理について学ぶ。	矢野先生
15			試験		

備 考

備考：N21教室で行います。

授業科目名	社 会 福 祉 論		担当教員	人間科学部教授 西崎 緑		
開講年次及び学期	前期		必修・選択の別	選択		
開講形態	講義（遠隔講義）		時間数	30	単位数	2
授業概要 授業は、テキスト、資料をもとに解説し、場合によってはディスカッションも加える。 数回、視聴覚教材を使用しながら社会福祉現場の実際を学ぶ時間も設ける。 授業キーワード：社会福祉，現代福祉						
G I O（一般目標） 社会福祉の思想，理論，制度，支援などの基礎について学ぶ。						
S B O（行動目標） 1．現代社会における社会福祉の理念と意義について理解する。 2．社会福祉の対象と支援の形態および方法について理解する。 3．社会福祉サービス体系の概要について理解する。 4．社会福祉をめぐるわが国および諸外国の動向について理解する。						
成績評価の方法 レポート（40％） 期末試験（60％）						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 テキスト：川村匡由監修 佐橋克彦・島津 淳・西崎 緑編著（2018）『現代社会と福祉』 電気書院。 その他授業資料等：特になし。 履修上の注意点 ・ <u>テキストの該当箇所を予習しておくこと。</u>						
オフィスアワー 看護学科学生は、メールでの連絡によって指導する。 nisizaki@hmn.shimane-u.ac.jp						
その他 担当教員は，社会福祉現場のソーシャルワーカーとしての勤務・実践経験があります。						

授業計画

回	授 業 内 容	備 考
1	日本における福祉制度のしくみ	テキスト第1回, 5回
2	保育と子育て支援をめぐる理念の整理	テキスト第3回
3	社会福祉の財政と持続可能性	テキスト第4回
4	高齢者の生活継続と住宅, 介護	テキスト第28回, 30回
5	貧困をとらえる	テキスト第14回
6	基本的人権とノーマライゼーション	テキスト第7回
7	ニーズとは何か	テキスト第12回, 13回
8	社会資源について考える	テキスト第13回
9	国家の現代的役割	テキスト第16回, 17回, 20回
10	社会福祉政策の論点Ⅰ	テキスト第18回
11	社会福祉政策の論点Ⅱ	テキスト第19回
12	社会福祉サービスの供給の多元化	テキスト第21回, 24回
13	社会福祉サービス利用方式	テキスト第26回
14	福祉教育と学校・地域の役割	テキスト第27回
備 考 ＊テキストの該当箇所を予習してくること。		

授業科目名	上級TOEICセミナー I (Advanced TOEIC Seminar I)	担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年	必修・選択の別	自由		
開講形態	単位認定用科目	時間数	(20時間)	単位数	0.5
授業概要 本科目は、TOEIC Listening & Reading Test 600点（日常生活のニーズを充足し限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができるレベル）のスコアを有する学生に認定する科目です。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。					
G I O（一般目標） TOEIC Listening & Reading Testの受験により、仕事で役立つ英語リスニング能力、英文法力、並びに英語読解能力の向上を目指す。数値的な目標としては、TOEIC Listening & Reading Test 600点以上の獲得を目指す。					
S B O（行動目標） (1) 文レベルからある程度まとまった量の英語を聞き、その内容が理解できる。 (2) 与えられた英文について、すばやく的確な文法的判断ができる。 (3) 与えられた英語の文章について、求められた情報をさっと読みとることができる。					
成績評価の方法 本学入学後に受験したTOEIC Listening & Reading TestもしくはTOEIC Listening & Reading Test IP（団体受験）のスコアが600点以上であれば、履修届とスコアシートを提出することで、本科目の単位を認定する。1年生は年2回（7月、2月）にTOEIC Listening & Reading Test IP試験を実施します。それ以外の学生は松江キャンパスで年6回（1, 3, 5, 7, 9, 11月）TOEIC Listening & Reading Testを受験できます（要受験料：5,725円税込）					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 （参考書） (1) TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会） 3,024円 (2) 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1 - 4（国際ビジネスコミュニケーション協会） 各3,024円					
オフィスアワー 英語学習支援室eクリニック（講義棟2階）にて受験に関する助言や情報を提供します。 また参考書、問題集が閲覧できます。eクリニックオフィスアワー：平日10:00-18:30					

授業科目名	上級TOEICセミナーⅡ (Advanced TOEIC SeminarⅡ)	担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	看護学科1－4年	必修・選択の別	自由		
開講形態	単位認定用科目	時間数	(20時間)	単位数	0.5
授業概要 本科目は、TOEIC Listening & Reading Test 730点（どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えているレベル）のスコアを有する学生に認定する科目です。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。					
G I O（一般目標） TOEIC Listening & Reading Test の受験により、仕事で役立つ英語リスニング能力、英文法力、並びに英語読解能力の向上を目指す。数値的な目標としては、TOEIC 730点以上の獲得を目指す。					
S B O（行動目標） (1) 文レベルからある程度まとまった量の英語を聞き、その内容が理解できる。 (2) 与えられた英文について、すばやく的確な文法的判断ができる。 (3) 与えられた英語の文章について、求められた情報をさっと読みとることができる。					
成績評価の方法 本学入学後に受験したTOEIC Listening & Reading TestもしくはTOIEC Listening & Reading Test IP（団体受験）のスコアが730点以上であれば、履修届とスコアシートを提出することで、本科目の単位を認定する。1年生は年2回（7月，2月）にTOEIC Listening & Reading Test IP試験を実施します。それ以外の学生は松江キャンパスで年6回（1，3，5，7，9，11月）TOEIC Listening & Reading Testを受験できます（要受験料：5,725円税込）					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 （参考書） (1) TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会） 3,024円 (2) 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1－4（国際ビジネスコミュニケーション協会） 各3,024円					
オフィスアワー 英語学習支援室eクリニック（講義棟2階）にて受験に関する助言や情報を提供します。 また参考書，問題集が閲覧できます。eクリニックオフィスアワー：平日10:00-18:30					

授業科目名	グローバルリテラシーセミナーⅠ (Seminar on Global LiteracyⅠ)	担当教員	嘱託講師 川上 サマンサ			
開講年次及び学期	看護学科1－4年・前期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要 高度な英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、異文化間に生じる諸課題を検討し、国際感覚あふれるグローバルな視野から物事を批判的に捉えることができる資質（グローバル・リテラシー）を身につけることを目的とする。本授業では、適切な英語表現を用いてディスカッションをする、意見を述べる、議論を進行する、進捗状況を報告する、といった様々なミーティングの場面に役立つ英語表現の演習を行う。 *本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標） Students will learn language to politely and actively participate in meetings.						
S B O（行動目標） Students will gain confidence and the ability to express themselves more clearly. Meeting Skills: ・ How to politely speak up and express opinions ・ How to agree and disagree with others ・ How to report progress ・ Setting up a meeting and steps of the meeting						
成績評価の方法 Attitude（10 points）, Homework（30 points）, Midterm Test（30 points: 15 points written, 15 points interview）, Final Test（30 points: 15 points written, 15 points interview）						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：無し An online LMS（learning management system） will be used.						
オフィスアワー 質問はメールで受け付けます。Email: shimane.sam@gmail.com						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	5.13(月)	17:30 -19:00	L2	• Self Introduction • Class Introduction	• Self introductions • Go over syllabus and how to study for this class
2	5.20(月)	〃	〃	• Arranging and Preparing for a Meeting	• Emails • General Meeting Vocabulary • Agendas
3	5.27(月)	〃	〃	• Opening a Meeting	• Using to-clauses to state purpose • Using sequencing words to make plans easily understood • Checking understanding
4	6.3(月)	〃	〃	• Presenting Information / Reporting on Progress	• Stating facts and giving reasons • Building an argument for your position • Asking for opinions and feedback
5	6.10(月)	〃	〃	• Mid-term Test Written and Interview	• Written and Interview
6	6.17(月)	〃	〃	• Problem Solving	• Explaining the problem / brainstorming • Making suggestions • Responding to suggestions
7	6.24(月)	〃	〃	• Agreeing and Disagreeing	• Building/developing an argument • Using conditional to talk about reasons and consequences • Agreeing and disagreeing
8	7.1(月)	〃	〃	• Summarizing and Closing	• Summarizing • Closing a meeting • Organizing follow-up
9	7.8(月)	〃	〃	• Class Summary / Overview	• Review points that were difficult • Ask questions and practice before the test • Feedback
10	7.22(月)	〃	〃	• Final Test Written and Interview	• Written and Interview

備 考

Students are expected to do online homework before each class; this homework will prepare students for the class. In class, students should be ready to practice using what they have studied to speak. Class time will be used for communicative activities, maximizing students' speaking time.

授業科目名	グローバルリテラシーセミナーⅡ (Seminar on Global Literacy Ⅱ)	担当教員	嘱託講師 川上 サマンサ			
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・後期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要 高度な英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、異文化間に生じる諸課題を検討し、国際感覚あふれるグローバルな視野から物事を批判的に捉えることができる資質（グローバル・リテラシー）を身につけることを目的とする。本授業では、ディスカッションやディベートにおいて、相手の意見に同意する、反対する、要求を伝える、相手や自分のニーズを理解した上で議論する、妥協点を見出す、といった英語による「交渉スキル (negociating skills)」を身につけるための実践的な語学演習を行います。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標） Students will learn language to politely and actively participate in negotiation situations.						
S B O（行動目標） Students will gain confidence and the ability to express themselves more clearly in order to obtain their goals. Negotiating Skills: ・ How to prepare for negotiating by considering the needs and wants of others and yourself ・ How to express your needs and wants ・ How to agree and disagree with others ・ How to bargain and compromise						
成績評価の方法 Attitude（10 points）, Homework（30 points）, Midterm Test（30 points: 15 points written, 15 points interview）, Final Test（30 points: 15 points written, 15 points interview）						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：無し An online LMS（learning management system）will be used.						
オフィスアワー 質問はメールで受け付けます。Email: shimane.sam@gmail.com						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	10.21(月)	17:00 ~18:30	L2	• Self Introduction • Class Introduction	• Self introductions • What is negotiation? / The ten rules of negotiation • Go over syllabus and how to study for this class
2	10.28(月)	〃	〃	• Preparing to Negotiate	• Asking for and giving opinions and reasons • Responding to opinions (agreeing & disagreeing) • Prioritizing: HIT and SMART objectives
3	11.11(月)	〃	〃	• Opening the Negotiation	• Welcoming and making introductions • Making small talk • Setting the agenda and telling interests
4	11.18(月)	〃	〃	• Making Proposals	• Making proposals • Accepting & rejecting proposals • Offering counter-proposals
5	11.25(月)	〃	〃	• Mid-term Test Written and Interview	• Written and Interview
6	12.9(月)	〃	〃	• Reaching Agreement	• Persuading and bargaining • Checking understanding • Clarifying and showing understanding
7	12.16(月)	〃	〃	• Dealing with Deadlock	• Asking & answering questions • Slowing things down and taking a break • Body language
8	12.23(月)	〃	〃	• Concluding the Deal	• Summarizing • Confirming agreement • Outlining future actions/follow-up • Thanking and saying good bye
9	1.6(月)	〃	〃	• Class Summary / Overview	• Review points that were difficult • Ask questions and practice before the test • Feedback
10	1.20(月)	〃	〃	• Final Test Written and Interview	• Written and Interview

備 考

Students are expected to do online homework before each class; this homework will prepare students for the class. In class, students should be ready to practice using what they have studied to speak. Class time will be used for communicative activities, maximizing students' speaking time.

授業科目名	海外留学セミナー (Seminar on Overseas Study)	担当教員	講師 John Telloyan			
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・後期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要						
This course is designed as a practical overview of culture and intercultural communication. The teacher will attempt to link theory, research, practice and experience with specific activities to help the students develop cultural awareness. Students will also study and use basic powerpoint skills to create short group presentations to introduce Japanese culture, the Izumo area, our school and the healthcare system of Japan when they go overseas. 本授業では、海外研修や留学に必要となる語学演習を行うとともに、異文化の理解関する理解を深めます。また日本や島根の文化、大学、日本の医療制度を英語で紹介するプレゼンテーションの演習を行います。(海外研修A参加者は必修)。 * 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科 3 単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標）						
The goal of this class is to help the students improve their cultural awareness as well as to improve their listening and speaking skills. We will use listening exercises specifically geared toward travel English under the broader TOEIC theme. We will also go over a few basic powerpoint techniques to help students prepare brief presentations to introduce various topics about Japanese culture, the Izumo area, our school and the healthcare system of Japan when they go overseas.						
S B O（行動目標）						
Speaking: Advanced practice of key vocabulary and sentence patterns essential to basic conversational skills. Culture: Improved self-awareness as well as deeper cultural awareness. Technology: work with basic powerpoint techniques.						
成績評価の方法						
Attitude: 10% Exam (presentation): 90%						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
教材は授業中に配布						
オフィスアワー						
掲示板に掲示し周知する。						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	11.26(火)	17:00～ 18:30	L2	Intro + Toeic Travel Unit 1a	So you don't need dinner tonight?
2	12.3(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 1b	Cultural Reading, pp. 10-11
3	12.10(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 2	Do you have anything to declare?
4	12.17(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 3	Powerpoint Advice
5	12.24(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 4	What is culturally acceptable?
6	1.7(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 5	Homestay advice : Touring the house
7	1.14(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 6	What do you mean? NZ videos: Hobbit + Hobbiton
8	1.21(火)	〃	〃	Communications with your host family	Cultural Values Clarification
9	2.4(火)	〃	〃	Homestay Do's and Don'ts	"Here's your tip." Saying good-bye
10	2.18(火)	〃	〃	Student Presentations	Confidence in communication (Test)

備 考

授業科目名	アカデミックイングリッシュA (Presentation Skills)	担当教員	講師 John Telloyan			
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・前期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要						
The mere ability to speak English is no guarantee that a person can present in English. Presentations in English will build and improve student English skills and knowledge and give confidence to make effective presentations in English. セミナーや学会で英語でプレゼンテーションする際に必要となる基礎的なプレゼンテーションスキルの向上を目指した語学演習を行います。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標）						
Speaking of Speech New Edition focuses on the three messages in speech: the physical message, the visual message and the story message. We will attempt to build the students' skills and knowledge, starting with the basics. We will examine a whole range of techniques. Each step will introduce the students to new skills and language which we will practice.						
S B O（行動目標）						
Students will analyze various presentations, give full presentations, get feedback and set targets for future presentations. The focus will be on the students at all stages. We will encourage each student to analyze, experiment, take a risk, have fun, accept, reject and finally, to find out what works personally for each student.						
成績評価の方法						
Attitude: 10% Final Speech: 90% 1) each student should purchase their own new textbook for this class						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
Book: Speaking of Speech（New Edition） Authors: David Harrington and Charles LeBeau Company: MacMillan ¥2,600（税別）						
オフィスアワー						
掲示板に掲示し周知する。						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	5.7(火)	17:30～ 19:00	L2	Intro + Unit 1	Posture and Eye Contact
2	5.14(火)	〃	〃	Unit 2	Gestures
3	5.21(火)	〃	〃	Unit 3	Voice Inflection
4	5.28(火)	〃	〃	Unit 4	Effective Visuals
5	6.4(火)	〃	〃	Unit 5	Explaining Visuals
6	6.11(火)	〃	〃	Unit 6	The Introduction
7	6.18(火)	〃	〃	Unit 7	The Body
8	6.25(火)	〃	〃	Unit 8	The Conclusion
9	7.2(火)	〃	〃	Review	Practice for the Final Presentation
10	7.9(火)	〃	〃	Final Exam	Final Performance
備 考					

授業科目名	アカデミックイングリッシュB (Writing Skills)	担当教員	助教 Lynne Murphy			
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・後期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要						
This course is designed as an elective course for students wishing to advance their academic writing skills. We are striving to provide students with a practical and efficient approach to learning the skills, strategies and knowledge necessary for successful writing. 本授業では、英語論文やレポート執筆の際に必要なとなる上級レベルのライティング能力の向上を目指した語学演習を行います。 ＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科 3 単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標）						
The goal of this class is to introduce students to the academic paragraph. We will review sentence structure and quickly move to developing and formatting an academic paragraph.						
S B O（行動目標）						
Each unit contains an authentic text to support students to provide ideas and context. Students will read and analyze these texts to see how others have written on the same or similar topics. The students will be encouraged to work together, share ideas and edit their own writing to refine their writing to be the best it can be.						
成績評価の方法						
Attitude: 10%, Assignments: 20%, Final Exam: 70%						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
Book: Effective Academic Writing（2nd Edition） Authors: Alice Savage Masoud Shafiei Company: Oxford University Press ISBN：978-0-19-432346-8						
オフィスアワー						
掲示板に掲示し周知する。						

授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	10.31(木)	17:00～ 18:30	L2	Introduction + Unit 1	Stimulating ideas; Developing a paragraph
2	11.7(木)	〃	〃	Sentence + paragraph	Fragments / run-on sentences
3	11.14(木)	〃	〃	Unit 2	Descriptive organization
4	11.21(木)	〃	〃	Descriptive paragraphs	Specific language / use of 'be'
5	11.28(木)	〃	〃	Unit 3	Example organization
6	12.5(木)	〃	〃	Example paragraphs	Using examples as supporting details
7	12.12(木)	〃	〃	Unit 4	Process organization
8	12.19(木)	〃	〃	Process paragraphs	Sensory and emotional details
9	1.9(木)	〃	〃	Unit 5	The simple past and past continuous forms
10	1.16(木)	〃	〃	Opinion paragraphs (Test)	Using reasons to support an opinion (Test)
備 考					

授業科目名	臨床英語 (English for Clinical Purposes)	担当教員	教授 福田 誠司			
開講年次及び学期	看護学科 1 - 4 年・後期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
授業概要 本科目は医学英文の読解や英語によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて、臨床に必要な英語力の向上を目指します。主な対象は4年生以上としますが1-3年生についても受講できます。授業は学生が中心の英語によるプレゼンテーションとディスカッションをメインに進めます。海外からの留学生に参加してもらうことも配慮し国際的に通用する英語の基礎をトレーニングします。通年木曜日に実施し、初回の5/9(木)以降は教員と受講者で相談して決定します。 * 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。						
G I O（一般目標） 臨床医学に関する科学的・医学的事項に関して自ら発表したり質疑応答することができる						
S B O（行動目標） 1) 臨床医学に関する科学的・医学的事項に関して英語で発表することができる 2) 英語で質疑応答することができる 3) 英語で記載された症例報告や研究論文を理解できる						
成績評価の方法 授業への取り組み（授業の準備，出席，討論への参加など） 50% レポートもしくは課題発表 50%						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 New England Journal of Medicine の Case Reoprt 100 cases in Clinical Medicine						

授業科目名	海外研修 A (Overseas Study Program A)	担当教員	教授 岩田 淳			
開講年次及び学期	看護学科 1,3 年編入生・春休み中	必修・選択の別	自由			
開講形態	実習	時間数	(40 時間)	単位数	1	

授業概要

本研修は、医学部がニュージーランドの Waikato Institute of Technology (WINTEC) の国際交流課、英語学部、健康学部と協力し、本学部の医学科、看護学科 1, 2 年生を対象に実施する海外研修プログラムです。本プログラムでは、2 週間の海外研修、事前事後の研修を通じて、(1) 基礎的な英語コミュニケーション能力と専門英語（医学英語、看護英語）の基礎力向上をはかり、(2) 海外の医療教育機関や施設の見学を通じて、医療に関する知識や視野を広げ、(3) ホームステイ等による異文化交流体験を通じて国際性を養うことを目的としている。研修期間中には次のような活動を行います。

- ・英語学習（日常英会話・基礎的な医学英語／看護英語）
- ・施設見学（クリニック、病院、高齢者施設、ホスピス、助産施設等）
- ・講義（ニュージーランドの医療制度等）
- ・他国からの留学生との交流
- ・各種イベント（歓迎・お別れパーティー、ニュージーランドの自然と文化見学等）

＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計 120 時間（看護学科 3 単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。

対 象

医学科 1 - 2 年生・看護学科 1, 3 年編入生

成績評価の方法

事前指導、事後指導、研修報告書及び報告会での発表により評価する。

実習日程・履修申込時期その他

実習日程は 3 月初旬～中旬を予定しています。研修の説明会、参加者募集は 10 月初旬に行います。また、本研修に参加する学生は、事前指導としてアドバンスト・イングリッシュ・スキルコースの「海外留学セミナー（Seminar on Overseas Study）」（後期）の履修を必須とします。

授業科目名	海外研修 B (Overseas Study Program B)	担当教員	募集時に決定			
開講年次及び学期	医学科6年生・5月～11月の間2～4週間	必修・選択の別	自由			
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1	

授業概要

医療に関する体験を主たる目的とした40時間以上の医学部主催の海外研修（ワシントン大学、タマサート大学、マヒドン大学、コンケン大学、北京大学、慶尚大学校、メルボルン大学等）。海外の医療施設・研究所等で医療に関する体験学習、施設見学、異文化体験等を通じて、海外における地域医療、家庭医療について学び医療人としての視野を広げることがを目的とします。

- ・海外の地域医療・家庭医療について学ぶ。
- ・海外の保健制度について学ぶ。
- ・海外の医療教育機関や施設の見学を通じて、医療に関する知識や視野を広げる。
- ・異文化交流体験を通じて、国際性を養う。

＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。

対 象

医学科（主として6年）を対象とした海外研修。

成績評価の方法

事前指導、事後指導、研修報告書及び報告会での発表により評価する。

実習日程・履修申込時期その他

実習日程、履修申込時期は、後日通知する。応募者を対象に選考を行い、研修先を決定します。

授業科目名	海外研修C (Overseas Study Program C)	担当教員	募集時に決定			
開講年次及び学期	看護学科1-4年・通年	必修・選択の別	自由			
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1	

授業概要

医学部が主催する「海外研修A」、「海外研修B」以外で、学生が自主的かつ主体的に行う医療に関する語学学習や語学研修や体験を主たる目的とした40時間以上の海外研修。

学生が主体的に企画した計画を事前に教務委員会で審査する。

審査項目は次のとおり

- ・研修目的、内容、期間、時間数
- ・受入機関の体制（施設・人員等）
- ・安全確保と緊急時の連絡体制（渡航先の安全確認、安全教育、海外旅行保険加入、緊急時連絡網等）
- ・事前研修（安全教育等）、事後研修（報告書、報告会）の計画

審査で「海外研修C」に該当する研修と判断された場合、研修実施後に報告書を提出すること。提出された報告書を教務委員会で審議し、「海外研修C」の単位を認定する。

＊本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。

対 象

医学科、看護学科全学年を対象とした海外研修。

成績評価の方法

事前指導、事後指導、研修報告書及び報告会での発表により評価する。

実習日程・履修申込時期その他

海外研修C申請書及び添付書類を渡航1月前までに学務課教育改革・教務担当に提出する。企画前であっても学務課教育改革・教務担当で相談を受け付ける。

專 門 教 育 科 目

專 門 科 目

授業科目名	看護学原論	担当教員	准教授 福間 美紀			
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	必修			
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2	
授業概要						
ケアリングおよび看護倫理を基盤とした看護の原点としての在り様を追求しながら、看護の対象論・目的論・方法論の概要を学ぶ。看護の対象となる人間を多面的・統合的存在として理解する看護学の基盤としての人間観を身につけ、人間科学としての看護学の視座をふまえて、看護実践の基盤をなす看護学の知識体系を理解する。現代社会における人々の健康ニーズに対応するための、保健医療福祉教育システムにおける専門職としての看護の機能と役割を考察し、将来にわたって看護学を追求することの意義を展望する。						
G I O（一般目標）						
1. 看護の対象となる人間を多面的・総合的に理解することにより、看護学の基盤としての人間観を育む。また、人間を取り巻く環境と健康生活との関連について理解し、看護学の基盤としての健康観を育む。 2. 看護実践の基盤をなす人間科学としての看護学の知識体系を理解する。 3. ケアリングと看護倫理に基づいて、社会の健康ニーズに応える看護専門職の役割と機能を考察する。						
S B O（行動目標）						
1. 職業としての看護、学問としての看護学を概観し、看護への学習を動機付ける。 2. 看護の定義、看護実践の目的、および、看護に求められる具体的役割を理解する。 3. 科学の発展過程と人間科学としての看護の視座を理解する。 4. 看護活動の対象である人間を、成長・発達、ライフサイクルの側面、生活主体としての側面から理解する。 5. 看護活動の対象である人間の統合性・全体性について理解する。 6. 環境の概念を理解し、人間と環境との相互作用について理解する。 7. 看護活動の対象である人間を人間関係の側面から理解する。 8. 健康の諸概念を踏まえて、多様化する健康観と健康生活のあり方を考察する。 9. 人間関係形成を基盤として健康問題の解決を図る看護実践プロセスを理解する。 10. ニードの充足と自立に焦点を当てた看護活動について理解する。 11. 適応に焦点を当てた看護活動について理解する。 12. 援助的な対人関係の形成に焦点を当てた看護活動について理解する。 13. 看護における実践・教育・管理・研究活動の基盤となる倫理について理解する。 14. 社会の健康ニーズに対応した看護専門職に期待される役割と機能を理解する。						
成績評価の方法						
※ 授業毎の課題レポート50%，筆記試験（記述式）50％により総合的に評価する。						
教科書						
1. 南江堂：看護学テキストNICE 看護学原論 改訂第2版 ※その他、参考文献については授業の中で随時紹介する						

授業計画

回	月日	テーマ	授 業 内 容	担当
1	4/9	看護の起源と看護学 ナイチンゲールの業績と近代 看護の成り立ち	職業としての看護。学問としての看護学。 “何が看護で、何が看護でないか” ナイチンゲールの看護観の今日的意義。	内田
2	4/16	現代の看護 (専門職としての看護職の育成)	プロフェッショナルとしての看護 制度としての看護職の育成 看護実践能力の育成とキャリア発達	内田
3	4/23	専門職としての看護実践と は？	DVD『(プロフェッショナル 仕事の流儀) 希望は必ず見つかる がん専門看護師 田村恵子の仕事』を鑑賞して、専門職としての看護について考える。	内田
4	5/7	専門職としての看護と倫理 ：倫理的意思決定と責務	看護実践における倫理的概念。 倫理的ジレンマと道徳的苦悩と向き合う。 ケアを必要とする人とともに。	内田
5	5/14	人間理解と看護 ：ニードを充足する人間 ：成長発達する人間	人間の基本的ニード。ニードの充足。自立。 自己実現。成長・発達し、生活の主体として 生きる人間。	内田
6	5/21	人間理解と看護 ：役割、他者との相互作用	自己と他者。他者理解。人間関係の影響。 社会的役割。文化の中での役割と役割葛藤。	内田
7	5/28	人間－環境－看護 ：適応する人間	環境との相互作用。ストレスとコーピング。 自己理解：自己のコーピング・パターンの測定	福岡
8	6/4	人間－環境－看護 ：適応する人間	自己像と自己への適応。不安。喪失。 看護ケアにおける危機理論の活用。	福岡
9	6/11	人間－環境－看護 ：援助的人間関係	コミュニケーションの基本技術 援助的人間関係を基盤にした看護理論	福岡
10	6/18	自己理解と看護 看護の本質：ケアリング	エコグラムによる自己理解。 ケアリング理論。	福岡
11	6/25	看護実践のプロセス ：問題解決過程としての看護 過程	看護アセスメントの視点。 関係形成過程と健康問題解決過程から成る 看護のプロセス。	福岡
12	7/2	看護実践のプロセス ：問題解決過程としての看護過程	科学的根拠に基づく論理的、系統的、合理的 実践。 実践～評価の螺旋状サイクルとしての看護実践。	福岡
13	7/9	看護実践のプロセス ：治療的人間関係形成過程 としての看護過程	その人らしさを支える。 癒し癒され、人として成長する。	福岡
14	7/16	まとめ：看護とは何か	これまでの学習を踏まえて、看護とは何か についてディスカッションし、看護に対する 自己の考えを整理する。	福岡
備 考 参考書（授業の中で随時紹介する。下記は一例） 1) ナイチンゲール著、湯楨ます他訳『看護覚え書き』現代社 2) ヴァージニア・ヘンダーソン著、湯楨ます他訳『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会 3) ミルトン・メイヤロフ『ケアの本質生きることの意味』ゆるみ出版 4) 高橋みや子監修『日本の看護 120 年－歴史を作るあなたへ』日本看護協会出版会				

授業科目名	援助関係論演習	担当教員	准教授 福間 美紀 他		
開講年次及び学期	1 年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
授業概要 この科目では、保健師・助産師・看護師・養護教諭などの看護職に必要な自己理解・他者理解を通し、人間関係形成について学びます。 講義では、看護の場面での援助関係形成のあり方や必要なコミュニケーションの知識と技術、基本的態度について学びます。 演習では、グループワークやロールプレイを行い、援助関係の基盤となる自己理解、自己表現、共感的理解、面接技法について体験学習します。					
G I O（一般目標） I. 援助関係形成の基盤となる基礎的知識・技術・態度を習得するとともに、対人関係における自己のありように気づく。					
S B O（行動目標） 1. 看護における援助的人間関係形成の必要性を理解する。 2. 自己理解・他者理解の必要性を理解する。 3. 援助関係に必要なコミュニケーションとコミュニケーションスキルを習得する。 4. 援助関係向上に向けたコミュニケーションについて、プロセスレコードを活用し、自己の振り返りを行うことができる。 5. ロールプレイを通して、援助的人間関係とは何かについて考えることができる。 6. 看護の場面における援助関係の実際を知ることができる。					
成績評価の方法 授業及びグループワークへの参加状況、及び事後のレポート（30%） ロールプレイ・プロセスレコード演習のレポート（30%） 筆記試験（40%）					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書：1. 系統看護講座 専門分野 基礎看護学（2）基礎看護技術Ⅰ，医学書院 参考書：1. 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論，医学書院 2. 人間関係論入門（ナースのための心理学），金子書房					

授業計画

回数	月日	場所	テーマ	内容	担当
1	10/1	N21	専門職に求められる援助関係の基本	援助的人間関係の基本的な考え方 コミュニケーションの構成要素 援助者の基本的態度，専門的援助関係	福岡
2		N21	自己の理解と 他者理解	自我構造の理解（PAC分析）	福岡
3	10/8	N21		他者との交流，他者理解	福岡
4		N21		場を読む 他者の気持ちを「きく」「引き出す」「受け止める」場づくり	福岡
5	11/5	N21		傾聴 援助関係における傾聴の意義	福岡
6		N21		さわやかな自己表現（アサーション）	福岡
7	11/26	N21		対人関係を促進させるフィードバックのスキル プロセスレコードの目的，書き方，実習場面のプロセス	福岡
8	12/3	第4 実習室	ロールプレイ・ プロセスレコード 演習	看護場面でのコミュニケーション・ロールプレイ プロセスレコード演習①	福岡・宮本 坂根・他
9				プロセスレコード演習①の振り返り	福岡・宮本 坂根・他
10	12/10	第4 実習室		看護場面でのコミュニケーション・ロールプレイ プロセスレコード演習②	福岡・宮本 坂根・他
11				プロセスレコード演習②の振り返り	福岡・宮本 坂根・他
12	12/17	N21	援助関係の実際	闘病生活を支える人間関係	福岡
13	12/24	N21		保健医療チームの人間関係	福岡
14	1/7	N21		障害のある人とのコミュニケーション （聴覚障害・言語障害）	福岡

備 考

授業科目名	ヘルスアセスメント技術演習	担当教員	准教授 福間 美紀, 講師 宮本 まゆみ 他			
開講年次及び学期	1 年 後期	必修・選択の別		必修		
開講形態	演習	時間数	30		単位数	1

授業概要

身体診察技術と看護ヘルスアセスメント

看護者の判断や実践が明確な根拠に基づいていなければ、科学的看護は実践できない。適切な看護を導き出すためには、全人的存在である人間の身体的・精神的・社会的反応を的確に捉えることが重要である。特に、身体反応の意味と生活に及ぼす影響をアセスメントすることは、科学的で個別的な看護を実践するための基本である。そこで、身体診察の技法を看護に取り入れ、看護ケアに必要なヘルスアセスメントの方法論を学ぶ。

※ 将来、これらのケア技術を安全かつ安楽に的確に実施できるよう、また、多様な場面で活用できるよう、“覚える”学習ではなく、科学的根拠に基づいた原理・原則を主体的に学び、状況に応じた方法を考えることに重きを置いた学習を行う。

※ 本科目は、形態と機能の学習内容が基盤となる。また、高校の理科1や生物の復習をして臨むこと。

夏期休暇で、「形態と機能」の復習を行い、身体各部の名称等を理解しておくこと。教科書2（山内）のワークブックを予習すること。

G I O（一般目標）

看護ケアに活用するためのヘルスアセスメントの視点と方法を理解し、基本的な身体診察技術を習得する。

S B O（行動目標）

1. 看護ヘルスアセスメントの視点と目的、方法を理解する。
2. 科学的根拠に基づく身体診察の基本的な方法を習得する。
3. 問診と身体診察の技術を用いて、得られたデータの正常・異常の判断ができる。
4. 身体診察のデータが健康状態と健康生活への影響する事を理解できる。
5. 事例演習の中でフィジカルアセスメントを効果的に活用するための方法を模索し、簡単な状況設定の基での活用ができる。

※ 個々の演習課題ごとに、下位レベルの行動目標を別途提示する。

成績評価の方法

- ※ 筆記試験50%・実技試験50%の配分で評価する。
- ※ 再試験は行わない。実技試験で力が発揮できるよう、準備すること。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書：1 三上れつ，他：看護学テキストNICEヘルスアセスメント第2版，南江堂

2 山内豊明：フィジカルアセスメント ワークブック：身体の仕組みと働きをアセスメントにつなげる，医学書院

参考書：藤崎郁：フィジカルアセスメント完全ガイド 第2版，学研

松尾ミヨ子他編：ナーシング・グラフィカ 基礎看護学②ヘルスアセスメント，MCメディカ出版

山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック目とてと耳でここまでわかる（第2版），医学書院

D V D：第3実習室の書棚に関連するDVDを多数整備してあるので事前・事後学習に活用すること

履修上の注意点

演習では，学生がペアになり，学生間でお互いの身体を使用して演習を行う。

本科目はアクティブラーニング（反転授業形態）で学習します。

反転授業とは，反転授業：講義を事前学習として，演習室でその学習内容を踏まえて演習を行う授業のこと

(1) 事前学習について

学習する予定の技術に必要な関連科目（形態と機能，フィジカルアセスメント技術）を復習して参加する

演習前にナーシングスキル（eラーニング），N502のDVD，教科書の該当箇所および動画を確認し，適切な手順を理解する

(2) 小テスト

共同学習の後，小テスト（筆記と実技）で事前学習の成果を確認する

(3) 演習（応用問題）

学習した基本的な手順を応用し，ある状況にああせた方法を考え，実施する

(4) 演習時の服装・授業態度

爪は短く切り，髪は実習と同様にまとめる

服装は原則として，ジャージ等（体育の時間の服装）とする

白い靴下を着用の上，ナースシューズを使用する。

他人に迷惑がかかる行為（私語，過度な化粧，携帯電話の操作等）があった場合には退室を求めることもある

*** 講義時間外の練習日を活用し，確実に習得できるよう繰り返し練習すること。**

授業計画

回数	月日	時限	内容	方法	責任者	担当
1	10/2	7・8	・ヘルスアセスメントの視点と方法 ・ヘルスアセスメント技術演習の学習に関するガイダンス ・感染予防の技術（手指衛生） ・基本的手技（問診，視診，打診，触診，聴診） ・身体診察・基準線・肋間の確認	デモ演習	福岡	津本・宮本 坂根
2		9・10				
3	10/16	7・8	・バイタル・サイン（血圧）	演習	福岡	宮本・坂根 他
4		9・10				
5	10/23	7・8	・バイタル・サイン（脈拍，体温，呼吸，意識レベル）2 ・一般状態のアセスメント	演習	福岡	津本・宮本 坂根
6		9・10				
	10/30	7・8	実技テスト：バイタル・サインの測定	実技テスト	福岡	津本・福岡 坂根・他
		9・10	（待機時間は，自由時間）			
7	11/6	5・6	・筋・骨格系のアセスメント ・中枢神経系（12脳神経）のアセスメント ・感覚器系のアセスメント	デモ演習	宮本	福岡・坂根 他
8		7・8				
9		9・10				
10	11/13	7・8	・腹部・消化器系のアセスメント	デモ演習	宮本	福岡・坂根 他
11	11/20	7・8	・呼吸器系のアセスメント - 呼吸音の聴取，呼吸状態の観察	デモ演習	福岡	津本・宮本 坂根
12		9・10				
13	12/4	7・8	・循環器系のアセスメント - 心音の聴取，心電図の測定	デモ演習	宮本	福岡・坂根 他
14		9・10				
	1/8	7・8	実技テスト：身体診察の技術	実技テスト	宮本	津本・福岡 坂根
		9・10				

授業科目名	基礎看護学実習Ⅰ	担当教員	准教授 福間 美紀 他			
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	実習	時間数	45	単位数	1	
授業概要						
療養生活を送る人との対話及び看護活動の観察を通して、看護師と患者との援助関係のあり方及び看護の機能について理解する。						
G I O（一般目標）						
1. 専門職としての基本的態度および学習方法を身につける。 2. 望ましい人間関係の形成過程を理解する。 3. 看護の視点で人間と健康生活を理解する。 4. 看護の機能について理解する。						
S B O（行動目標）						
1. 専門職としての基本的な態度と学習方法を身につける。 1) 指導者や教員に報告や相談を行い、責任のある行動をとることができる。 2) 対象者の個人情報の保護や、守秘義務を遵守することができる。 3) 対象者の自己決定の権利を尊重する。 4) 対象者の安全を擁護する行動をとることができる。 5) 対象者の信頼を得るように身だしなみや態度の品行を高く維持する。 6) カンファレンスや全体討議での意見交換を活用し、学びを深めることができる。 7) 健康管理の指針に基づき自己の健康管理ができる。 2. 看護師と対象者との望ましい援助関係のあり方を理解する。 1) 対象者に積極的な関心を持つことができる。 2) 看護活動でのコミュニケーションの意義を理解することができる。 3) 対象者の思いに沿ったコミュニケーション技術を活用することができる。 4) 対象者と自己の相互作用について振り返ることができる。 5) 対象者に対する効果的な関わりについて考えることができる。 6) 対象者を尊重したコミュニケーションを実践することができる。 7) 看護師と対象者との望ましい援助関係のあり方を考えることができる。 3. 看護の視点で人間と健康生活を理解する。 1) 人間のライフサイクルにおける発達課題の特徴を理解する。 2) 健康状態と基本的欲求充足状況との関連について理解する。 3) 健康状態と環境に対する適応について理解する。 4. 看護の機能について理解する。 1) 対象者に応じた教育・相談的機能について理解する。 2) 対象者に応じた直接的ケアの機能について理解する。 3) 医療チームの中での調整機能について理解する。						
成績評価の方法						
出席状況、実習態度、実習記録、個人面接での振り返り等より評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
・別冊「臨地実習の手引き」を配布する。 ・実習ユニフォーム、ナースシューズ、名札等を準備する。 ・各自、「看護学原論」「援助関係論」のテキストと配布資料を活用すること。						

授業計画

回	月日	時間	場所	内容	担当
0	前期の予定 掲示板にて後日知らせる			ユニフォームに関する説明	実習委員会
0	前期の予定 掲示板にて後日知らせる			事前のオリエンテーション	福間・坂根
1 2	10/1	13:00～ 16:35	N11	臨地実習全体のオリエンテーション (実習の意義, 目的, 4年間の展開, 手続き) 基礎看護学実習1におけるKYT	福間・津本・宮本・ 坂根・他
3 4	10/8	13:00～ 14:30～ 16:35	N11 各演習室	基礎看護学実習Iのオリエンテーション 医学部附属病院のオリエンテーション グループ担当教員とのうちあわせ	福間・津本・宮本・ 坂根・他
5 6 7 8	10/29	8:30～ 16:35	病棟① N11 各演習室	8:30～12:30 附属病院でのシャドイング実習 13:30～ カンファレンス 16:35～ 記録の提出 (必要な学生は個人面談)	福間・津本・宮本・ 坂根・他
9 10	11/5	13:00～ 16:35	各演習室	グループカンファレンス	福間・津本・宮本・ 坂根・他
11	11/12	*13:15～ 15:15	N11	発表準備 13:30～ 全体討議 (中間：看護の役割機能とその責任)	福間・津本・宮本・ 坂根・他
12 13 14 15	11/19	8:30～ 16:35	病棟② 各演習室	午前：受け持ち患者実習前オリエンテーション 13:00～ 受け持ち患者実習1 15:00～ カンファレンス 16:35～ 記録の提出 (必要な学生は個人面談)	福間・津本・宮本・ 坂根・他
16 17	11/26	13:00～ 16:35	病棟③ 各演習室	13:00～ 受け持ち患者実習2 15:00～ カンファレンス 16:35～ 記録の提出 (必要な学生は個人面談)	福間・津本・宮本・ 坂根・他
18 19	12/3	13:00～ 16:35	病棟④ 各演習室 N11	13:00～ 受け持ち患者実習3 15:00～ カンファレンス 16:35～ 記録の提出 (必要な学生は個人面談)	福間・津本・宮本・ 坂根・他
20 21	12/10	13:00～ 16:35	各演習室	グループカンファレンス	福間・津本・宮本・ 坂根・他
22 23	12/17	*13:15～ 15:15	N11	発表準備 14:15～ 全体討議 全体討議 (最終：看護の対象者とその援助のあり方)	福間・津本・宮本・ 坂根・他
24	1/7	13:00～ 16:35	各演習室	個人面接 (実習の振り返り・評価)	福間・津本・宮本・ 坂根・他
備 考 事前課題として、夏期休暇中患者体験記を2本読み、レポートを提出を課する。 患者体験記・闘病記を精読し、著者及び著者の療養生活等についてマズローの基本的欲求、ハビィガーストの発達課題、適応の視点、対象者を取り巻く環境、看護の機能についてレポートする。(最低2本の著書を読み、著書別に一枚ずつ、それぞれの違いについて一枚を目安にまとめる) この提出日は10月1日(火) 実習記録の最終提出は、12月20日(金) 16:00とする。					

教職に関する科目

(出雲キャンパス開講科目)

授業科目名	教 育 原 論 II	担当教員	嘱託講師 中島 千恵		
開講年次及び学期	1 年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義(集中) とディスカッション	時間数	30	単位数	2
授業の目的 社会変化は激しい。児童生徒、保護者、教育関係者も制度改革を含め大きな変化に向き合っている。教育実践においても配慮しなければならない多様な教育的要素が加わっている。教育関係者は様々な改革の波にさらされてきた。変化が激しい時ほど、実践の指針となる思想や基本理念が重要になる。本講義では教育の意義や本質、公教育制度の基本理念や重要な教育思想を学び、人の学びと学校教育について理解を深める。					
科目の達成目標 ・教育の意義、目的、本質的働きを理解している。 ・教育の歴史的変遷と多様な教育思想との関わりについて理解している。 ・児童・学校・教育実践に関わる代表的な教育思想を理解している。 ・現行の学校を支える基本的思想と理念がわかり、教育実践との関わりを考察できる。 ・校種間連携、学校・家庭・地域の連携の基本的理念を理解している。 ・現代教育課題の歴史的背景を理解し、多様な観点から考察できる。					
授業内容 第1回：イントロダクション(授業内容、課題、評価基準などの説明と確認)、教育の社会的機能 第2回：教育とは何か(意図的教育、無意図的教育、人生における教育) 第3回：教育の必要性と可能性：アリストテレス、プラトン、イリイチ、フランクフル 第4回：教育の本質的要素：発達の援助、文化財の伝達、良心の覚醒 第5回：西洋における近代教育思想の打開と発展—ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベル、デューイ、現代教育の思想的源流、子ども観の変遷、児童の権利条約、能動的権利主体 第6回：日本における近代教育思想—森有礼、福沢諭吉—学校誕生、国民教育制度、義務教育、学校文化 第7回：公教育制度を支える仕組みとその思想的展開—コンドルセを中心として—万人のための教育、教育の機会均等、義務、無償、中立性 第8回：グローバル化時代の教育目的：キーコンピテンシー、21世紀型能力、義務教育の目的 第9回：特別支援教育：インクルージョン、個別的教育計画、自立・社会参画、共生社会、尊厳のある生き方 第10回：道徳教育：特別な教科道徳、ソクラテスの問い、カント、人格の完成、生き方 第11回：校種間連携、地域や家庭との連携：小中一貫、幼少連携、保護者対応 第12回：グローバル化する世界に生きる子供たち：日本語指導、母語・母文化、アイデンティティ 第13回：学校における学習と教育方法に関する思想と基本原理—ヘルバルト、デューイ、ノディングス(ケアリング)、メルル(ID第一原理) 第14回：生活習慣と学習の関係：ペタゴジーとアンドラゴジー、生涯学習の思想、ジェルビ 定期試験はしない					
授業の進め方 この授業は、毎回ひとつのテーマに沿って講義形式で進めますが、ジグソー法によるディスカッションやペアティーチングなど、多様な協働的学習を取り入れます。					
授業キーワード 学習権の保障、公教育、特別な配慮を必要とする児童、幼小連携、子育て支援					
成績評価の方法 毎回の授業に関する課題①②(80%)、授業中の提出物と宿題(20%)					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 テキスト：特に指定しないが、授業中に紹介する参考文献を読むように。 参考書：田中、越後、中島編著『改訂 未来に生きる教育学：変動期の教育の構築』あいり出版、2018年 その他、授業中に随時、紹介または配布する。					
オフィスアワー 集中講義ですので、授業中にできなかった質問などは毎日、授業終了後に受け付けます。					

授業科目名	教育相談の理論と方法		担当教員	嘱託講師 斎藤 渉		
開講年次及び学期	1 年 後期		必修・選択の別	選択		
開講形態	講義		時間数	30	単位数	2
授業概要						
この授業では、保健師，看護師，養護教諭など対人援助を行う専門職に，臨床心理学の考え方を通して，人間を全体的存在として理解することを学びます。そのためには，フロイトやユングが提唱した無意識という考え方が役立ちます。特に，演習ではイメージを通して無意識に触れ，その大切さに気付いていきます。						
G I O（一般目標）						
対人援助において大事なことは，相手の気持ちを理解し受容することですが，そのためには自己理解と，相手との信頼関係の構築が欠かせません。そのような関係性を通して人は心を癒していきます。この授業では無意識から発せられたイメージを媒体として，関係性についても深めていきます。						
S B O（行動目標）						
1. 臨床心理学が対人援助に置いて有効な方法であることを知る。 2. 無意識という考え方が人間の内面を理解するのに役立つことを学ぶ。 3. 人間の心を理解するために心理検査が活用されていることを知る。 4. イメージを中心とした演習を通して，直接無意識を理解する。 5. 対人援助にとって大事な基礎知識や技法を習得する。						
成績評価の方法						
授業態度（5％），出席日数，感想文（25％），レポート試験（70％）等により総合評価する。						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
・教科書 「臨床心理学」伊藤良子編著 ミネルヴァ書房 ・授業中に配布する資料や，視聴覚教材をもとにすすめる。						
オフィスアワー						
授業の前後						

授業計画

回	月日	授業内容	備考
1	10月2日(水)	臨床心理学は何を目指しているか？	
2	10月9日(水)	不登校とひきこもり(ビデオ)	
3	10月16日(水)	こころのしくみと働き方について考える	
4	10月23日(水)	「症状をもつ」とはどういうこと？	
5	10月30日(水)	「発達障害・知的障害をもつ」とはどういうこと？	
6	11月6日(水)	家族プレイ(演習)	N 202
7	11月13日(水)	人間の心を理解するとはどういうこと？(アセスメント)	
8	11月20日(水)	描画を通して自分を知る(演習)	N 202
9	11月27日(水)	臨床心理学的援助(カウンセリング)を実践するために	
10	12月4日(水)	カウンセリングの技法：相手のところをとらえる面接の仕方(演習)	N 202
11	12月11日(水)	子どもや青年の生きている世界とそこで生じる心理的問題・課題とは？	
12	12月18日(水)	転移・逆転移について	
13	1月8日(水)	絵画療法におけるイメージの流れ(ビデオ)	
14	1月15日(水)	夢について学ぶ	
備 考			

養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法

教職に関する科目	授業科目名	必修 単位	開講時期	開講場所	担当教員	備 考
教育の基礎的理解に 関する科目	教育原論Ⅱ	2	1年後期	出雲キャンパス	嘱託講師 中島千恵	集中講義
	教職概論C	2	1年前期	松江キャンパス	教育学部教授 権藤誠剛	集中講義
	教育社会学概説	2	1年後期	〃	教育学部准教授 香川奈緒美	集中講義
	人格発達心理学概説	2	1年後期	〃	嘱託講師 堤 雅雄	金5・6
	特別支援教育	2	3年後期	未定	未定	未定
	教育課程論	2	2年前期	出雲キャンパス	嘱託講師 森 久佳	集中講義
道徳，総合的な学習の 時間等の指導法及び 生徒指導，教育相談等 に関する科目	道徳及び特別活動論	2	2年後期	未定	嘱託講師 西田忠男	集中講義
	総合的な学習の時間	2	3年	未定	未定	未定
	教育の方法と技術	2	2年後期	出雲キャンパス (遠隔講義)	教育学部教授 権藤誠剛	木9・10
	生徒指導論	2	2年前期	松江キャンパス	嘱託講師 新見直子	集中講義
	教育相談の理論と方法	2	1年後期	出雲キャンパス	嘱託講師 斎藤 渉	水1・2
養護実習	養護基礎実習事前・事後指導	1	3年前期	出雲キャンパス	講師 土江梨奈 他	
	養護基礎実習	2	3年前期	教育学部附属学校園		
	養護展開実習事前・事後指導	1	4年前期	出雲キャンパス		
	養護展開実習	2	4年前期	出雲市内小・中学校		
教職実践演習	教職実践演習 (養護教諭)	2	4年通年	出雲キャンパス 他		
	合計単位数	30				

履修登録については，別途通知する。

2019年度オフィスアワー一覧

講 座	教 員 名	場 所	時 間 帯
基礎看護学	内田 宏美 教授	5 階	会議等で不在の場合が多いので、メールをください。 E-mail: uchi@med.shimane-u.ac.jp
	津本 優子 教授	5 階	調整しますのでメールください。 E-mail: tsumotoy@med.shimane-u.ac.jp
	福間 美紀 准教授	5 階	メールで日程調整します。 E-mail: mk8592@med.shimane-u.ac.jp
	宮本 まゆみ 講師	5 階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: mmiyamot@med.shimane-u.ac.jp
臨床看護学	橋本 龍樹 教授	2 階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail: ryuju@med.shimane-u.ac.jp
	福田 誠司 教授	3 階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail: sfukuda@med.shimane-u.ac.jp
	若崎 淳子 教授		適宜
	秋鹿 都子 准教授	3階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: aika@med.shimane-u.ac.jp
	橋本 美幸 准教授		適宜
	瀧尻 明子 講師	4 階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: takijiri@med.shimane-u.ac.jp
	松浦 志保 講師	3 階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: shihom@med.shimane-u.ac.jp
地域・老年看護学	原 祥子 教授	5 階	水曜日 12:00~13:00 適宜, メール (hara@med.shimane-u.ac.jp) でのコンタクトOK
	小笹 美子 教授	6 階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: yozasa@med.shimane-u.ac.jp
	加藤 真紀 准教授	5 階	不明なことがあればご確認ください。 午前中は、研究室をあげていることが多いかもしれません。何かあれば、メールか加藤の携帯に連絡ください。
	榊原 文 講師	6 階	適宜 E-mail: aya@med.shimane-u.ac.jp
	竹田 裕子 講師	6 階	適宜 E-mail: y.takeda@med.shimane-u.ac.jp
	土江 梨奈 講師	6 階	適宜 E-mail: thuchie @med.shimane-u.ac.jp